

第六十四回帝國議會
衆議院

米穀統制法案外一件委員會會議錄(速記)第八回

會議

昭和八年二月二十七日(月曜日)午後一時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事出井 兵吉君 理事久山 知之君

理事佐藤 重遠君 理事高橋 守平君

理事原 淳一郎君

河野 一郎君 八田 宗吉君

尾崎 天風君 平野桑四郎君

田中 貞二君 清家吉次郎君

白神 邦二君 三善 信房君

土井 權大君 宮崎 一君

池田 秀雄君 村松 久義君

山田 助作君 木曾三四郎君

高田 耘平君 小池 仁郎君

由谷 義治君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

拓務大臣 永井柳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省主計局長 藤井 眞信君

大藏書記官 賀屋 興宣君

大藏書記官 石渡莊太郎君

專賣局長官 佐々木謙二郎君

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

拓務省殖産局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 多木久米次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、原君

○原委員 私共ノ此法案ノ審議ニ當リマシテ、最モ重要ナル注意ヲ要スル點ハ、本法

案ニ依ッテ果シテ其期所ノ目的ヲ達成シ得ルヤ否ヤト云フ點デアリマス、即チ過去ノ

經驗ニ徴シマスレバ、米穀法ノ運用ニ依リマシテ、政府ハ國家ニ對シテ相當多額ノ損

失ヲ蒙ラシテ居ルノニモ拘リマセズ、其所

期ノ目的ヲ達成致シテ居ナイヤウニ思ハレ

ルノデアリマス、隨テ此法案ニ依ッテ、其目

的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトガ最モ重

點デアルト考ヘマスルガ、其點ニ付キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

期ノ目的ヲ達成致シテ居ナイヤウニ思ハレ

ルノデアリマス、隨テ此法案ニ依ッテ、其目

的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトガ最モ重

點デアルト考ヘマスルガ、其點ニ付キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

テ、先日來委員ト政府トノ間ニ於キマシ

付託議案

米穀統制法案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

何致シタイト存ジマス

○後藤國務大臣 米穀ノ統制ニ付テ、更ニ

有力ナ方法ヲ講ジナケレバナラスト云フ議

論ガ世上ニモ、隨テ議會ヲ中心トシテモ行

ハレマシタ動機ハ、御話ノヤウナ點ニアッ

タト思ヒマスガ、政府ガ之ヲ考究シ、實施

致シマスル場合ニハ、各種ノ方面ヲ考ヘナ

ケレバナラストデアリマス、一ノ常時的ノ

制度ヲ茲ニ設ケルノデアリマスカラ、一面

ニハ生産者ノ立場ヲ考ヘテ、ソレカラ一面

ニハ消費者ノ立場ヲ考ヘテ、國家全體カラ

見テ重要ナ生産物、非常ナ重要ナ消費品デ

アリマスルモノニ、成ベク價格ノ變動ヲ少

クスル、安定ヲ得サセテ行キタイ、斯ウ云

フ風ナ考デ統制法ヲ制定スルニ至ッタノデ

アリマス

○原委員 只今ノ農林大臣ノ御答辯ハ此法

案ノ永遠ノ目的カラ考ヘマスルナラバ、當

然ノ御答ト考ヘマスガ、併シ私ガ只今斯様

ナ質問ヲ致シマスル事柄ハ、左様ナ先キノ

目的ニアラズシテ、當面ノ此法案運用ニ關

スル動機、即チ目的デアリマスルガ、何故

斯様ナコトヲ質問スルカト申シマスレバ、

此法案ニ依ッテ所謂公定米價ヲ決メラレル
ノデアリマスガ、其公定米價ヲ決メラレル
ニ付テハ、生産費或ハ家計費、物價其ノ他
ノ經濟事情ヲ斟酌シテ決定致スコトニナッ
テ居リマス、所ガ此家計費ト申シテモ、頗
亦生計費ト申シテモ、其調査タルヤ、頗
ル不確實ナモノデアリマシテ、其決定ス
ルコトモ亦農林省ノ方ニ於テ、大體決定サ
ル、コトニナッテ居リマス、殊ニ物價其ノ他
ノ經濟事情ト云フコトニ付テモ、亦農林省
ノ方ノ大體ノ御意嚮ニ依ッテ決定サレルコ
トデアリマスカラ、此法案ノ運用ニ當ッテ、

農村救済ト云フ點ニ重キヲ置クカ、我ハ消
費者ノ生活ノ安定ト云フコトニ重キヲ置ク
カト云フコトニ依ッテ、其生産費ノ決定ニ付
テモ亦家計費ノ決定ニ付テモ、所謂公定米價
——最低米價ノ決定ニ付テモ、其重點ヲ置
クコトニ依ッテ餘程變ッテ來ルト思ヒマス、

是ガ數學的ニハッキリ現ハル、モノデアリ
マスナラバ、其處ニ移動ガナイカモ知レマ
セヌガ、矢張其目的トスル所、即チ農林省
ガ農村ヲ救済スルト云フ點カラ出發スル
ト、消費者ノ生活ノ安定ヲ圖ルト云フヤウ
ナ方面ニ重點ヲ置クノトニ依ッテ、餘程其決
定ニ差異ガアルト存ジマスルノデ、私ハ特
ニ此點ニ付テ御伺シタヤウナ譯デアリマ

ス、先ヅ以テ此法案ガ制定サレマシタ後ニ
於テ、直チニ此法案ヲ運用スル方面ハ、ドノ
方面ニ向ッテ活用サレルカ、即チ最低米價ノ
方ヲ維持スルコトニ此法案ガ運用サル、ト
云フ御考デアルカ、或ハ最高米價ノ方ヲ維
持スルガ爲ニ活用セラル、ト云フ御考デア
ルカ、其點ニ付テ御伺シタイノデアリマ
ス

○後藤國務大臣 ソレハ米價ノ趨勢如何ニ
關ハルコトデアッテ、米價ガ非常ニ下リ氣味
ニナル時ニハ、最低價格ノ維持ニ向ッテ、此
法律ガ專ラ動クト云フコトニシナケレバナ
ラス、若シ物價其他ノ一般ノ昂騰ニ依ッテ
貨幣價值ガ下落スルト云フヤウナ、事態ガ
非常ニ進ンデ參リマス時ニハ、今度ハ上値
ノ調節ト云フ風ニ、其結果ハ動クヤウニ仕
組ンデアル譯デアリマス、即チ米價ノ事態
如何ニ依ッテドツチニモ是ガ働クト云フヤウ
ニ、自然ニ副ウヤウニ仕組ンデアル譯デア
リマス

○原委員 只今ノ農林大臣ノ御答辯ハ、要
スルニ理論ヲ御話ニナッタノデアリマシテ、
無論私モ左様ナコトハ存ジテ居リマス、唯
私ノ伺ヒマスルノハ、今日ノ米價ノ狀態ニ
於テ、又現今ノ物價、其他ノ經濟上ノ狀況ニ
於テ、此法案ガ如何ナル方面ニ活用サレル

カト云フコトヲ伺フノデアリマシテ、將來
ニ向ッテ米價ガ非常ニ上ル、サウ云フ場合ニ
ハ最高米價ヲ調節スルコトニナリマセウ
シ、又色々變リマセウガ、現今ノ狀況ヲ基
本トシテ、農林省ノ方ニ於テ御考ニナッ
場合ニ於テハ、ドウ云フ方面ニ此法案ガ活
用サレルノデアルカト云フコトヲ御伺スル
ノデアリマス、率直ニ申シマスナラバ、

今日ノ農村カラ考ヘマシテ、今日ノ米價ハ
他ノ物價ニ比較ヲ致シマシテ、私共ハ餘程
安イト思フノデアリマスルガ、其點カラ考
ヘマシテ、此農村救済ト云フ點カラ考ヘ、
且ツハ此法案ガ提案サレマシタ其動機等カ
ラ考ヘマシテ、最低米價ヲ維持スルト云フ
方面ニ活用サレルヤウニ思ハレマスガ、其
點ニ付テ尙ホモウ一遍御伺致シマス

○後藤國務大臣 現在ノ米穀法ノ基準價格
——現在ノ狀況ハ米價ノ下ルコトヲ喰止メ
ルノニ役立ツ所ニ動イテ居リマス、今直グ
今日公定制度ガ布カレテ、今ノ市價ノ米價
ノ狀況ニ應ズルモノトシマスレバ、米價ノ下
ルコトヲ抑止スルコトニ非常ニ活用サレル
コト、思ヒマス、唯是ガ實施サレル時期ヲ
想像シマス、先行キハ果シテドウナリマ
スルカ、吾々ハ米價ノマダ段々上ルコトヲ
希望シテ居リマスルシ、趨勢ハドウモサウ

デヤナイカト云フコトモ豫想サレマスガ、
私ハ決シテ此際豫言ハ致シマセヌ、此米穀
法ガ動ク時ニナッテ何處ニ働クコトニナル
カト云フコトハ一寸豫言スルコトハ出來マ
セヌ、現在ノ儘今此處デ實施スルモノトス
レバ、今御話ノヤウナ所ニ十分働クモノト
信ジマス

○原委員 今ノ點ハ大體是レ位ニ致シマシ
テ、次ニ御伺スルノハ、尙ホ生産費ノ問題
ニ付キマシテ御伺致シタイト存ジマスル
ガ、ソレ等ノ點ハ既ニ他ノ委員カラ質問ガ
アリマシタノデ、是ハ時間ガアリマスレバ
致シマスルガ、後廻シニ致シマシテ、次ニ
伺ヒマスルノハ、最高價格ノ決定ノ標準ト
ナッテ居リマスル家計費ノ算出方法ニ付テ
伺ッテ見タイト存ジマス、所謂家計米價ノ
算出ニ付キマシテハ、先日頂戴致シマシタ
參考書ニ依リマシテモ、居住費、被服費等
ノ米代ニ關係ノナイヤウナ生活費モ參酌ス
ルコトニナッテ居ルト存ジマスルガ、此點ガ
モウ一ツハッキリ致シマセヌノデ伺ヒマス、

此家計費ノ算出ニ付キマシテハ、所謂家計
米價ノ算出ニ付キマシテハ、居住費、被服
費ト云フヤウナ米代ニ關係ノナイヤウナ生
活費ノ高下ニ依ッテ、ソレ等ノ生活費ガ多ク
ナルコト或ハ少クナルコトニ依ッテ、矢張家

計費ニ影響致シテ參ルノデアリマスガ、其點ニ付テ御同致シタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 細カイコトハ尙ホ政府委員カラ補足致サセマスガ、大體家計米價ノ計算ニハ只今御話ノアリマシタヤウナ、生活ニ絶對的ニ必要デアルト思ハレルモノハ、米價ノ高下ニ應ジテソレヲ伸縮スル餘力ノ餘リナイモノト見テ居リマス、唯家計費ノ中

デ伸縮性ヲ持ッテ居ル部分ヲ取上ゲテ、ソレガ物價ノ高下ニ應ジテ或ル程度ノ伸縮ガ出來ル、ソレモ一定ノ限度ガアルカラ、其限度ノ範圍内ニ於テ米價ノ高クナルコトニモ耐ヘ行クデアラウト云フ目安ヲ付ケテ家計米價ト云フモノヲ出サウトシテ居ルノデアリマス、之ヲ出スニモ過去ノ事實ヲ調べマシテ、實際ノ家計米價ノ高下ニ、ドウ云フ工合ニ應ジテ行クカト云フ實情ヲ見テ、其邊ニ目安ヲ立テタイト考ヘテ居リマスノデ、今御質問ノ被服費、其他ノモノガ膨脹スル時分ニハ、米價ニ支拂ヒ得ル力ノ限度ニ影響ヲ及ボスト思ヒマス、併シソレガ影響ヲ及ボスダケハ米價ガ伸縮性ノ有ル所ヘ喰込ンデ行クハ、其喰込マレル部分ガ伸縮性ノアル部分ト云フ見方デ家計費ヲ計算スルコトニナツテ居リマス、尙ホ其點ニ御疑問ガアリマス

レバ更ニ米穀部長カラ御答辯ヲ致サセマス

○原委員 モウ一ツハッキリ致シマセヌガ、例ヘテ申シマスレバ、百圓ノ收入ガアル人デ、所謂米代ニ拂フ金トシテ家計米價ノ基本ニナッテ居リマスルノガ假ニ二十圓ト致シマス、サウスレバアトノ八十圓ハ家賃、其他ノ被服費等ニナリマスルガ、

サウ云フ場合ニ於テ八十圓ノ拂ヒガ八十五圓掛ル場合ニナッタラバ、收入ガ殖エレバ別デスガ收入ガ殖エナクテ、百圓ノ内八十圓要ッテ居ッタモノガ、八十五圓入用ニナッタ、ソコデ二十圓ヘ五圓喰込ンデ來タト云フ場合ニハ、家計米價ハ自然ニ下ッテ來ルノデハナイカト云フコトヲ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 ソレハ理論的ニ申ストサ

ウナルノダラウト思ヒマス、後デ御説明申上ゲマスケレドモ、今調査ラシテ居ル方法ハ、被服費トカ家賃トカ云ッタヤウナ生活ニ必須ノ支出ニナルモノハ別ニ致シマシテ、サウシテ例ヘバ交際費デアルトカ、チョット遊山ニ使用スルヤウナ費用デアルトカ、伸縮性ヲ有ッテ居ルト認メラレル家計費ノ部分、其部分ニドレダケノ伸縮性ガアルカ、何時モ米價ト云フモノガ其家計費ヲ見テ、其中ヘドウ云フ工合ニ喰込ンデ行ケルモノ

デアルカ、其方ノ伸縮性ニ依ッテ米價ノ伸縮性ヲ見ヤウト云フノデゴザイマス、ソコデ五圓ダケ此方ニハミ出シタトスレバ、米

ノ方ハ伸縮性ノ有ル方ヘソレダケ喰込ム、サウシテ伸縮性ノ有ルノガ假ニ一割五分アリトスレバ、此方カラ押サレ、バソレダケ減ッテ、アトハ一割シカナイト云フコトニナリマスカラ、是ハ必需品ノ方ノ支出ガ多クナレバ、自ラ片方ノ方ノ伸縮性ト認メラレベキ部分ガ狭クナルダケニ、ドウモ結局矢張米價ノ堪ヘ得ル限度ノ伸縮性ノ幅ガ狭クナルト云フ理論ニハナラウト思ヒマス、併シサウデナク、此方ノ伸縮性ノ堪エ得ル限度ヨリハ、堪ヘラレナイト云フ計算ニ致シマスレバ御話ノ次第ニ對應シタ結果ガ出テ來ルト思ヒマス、モウ少シ數字的ニ御説明致セバ御分リニナルカト思ヒマスガ……

○原委員 唯其點ガ大臣ノ御話ノヤウナ伸

縮性ノ有ル程度ナラ結構デスガ、伸縮性ガ無い程度迄喰込ンダヤウナ場合、詰リ米代以外ニ伸縮性ヲ認メタ部分ヲ全部外ノ方ニ喰込マレタ時分ニハ、伸縮性ヲ失ッテシマツテ、サウ云フ場合ニハ當然ニ米代ヲ食フコトニナル、例ヘバ副食物サヘモ食ベルコトガ出來ナイ、米ダケシカ食フコトガ出來ナイト云フ所マデ、其他ノ物價ノ昂騰ニ依ッ

テ喰込ンダ場合ニハ、勢ヒ家計米價ト云フモノハ非常ニ下ッテ來ルト思ヒマスガ、其點ハ如何デスカ

○後藤國務大臣 サウ云フ場合ニハ家計米

價ガ下ッテ來ル、上ノ方ノ限度トナル家計米價ト云フモノ、數字ガ低クナル、サウ云フ計算ノ場合ニハ低クナル、ソレデ今調べテ居ル場合デモ、百圓ノ收入ノ人ト、六十圓ノ收入ノ人ト色々ナ者ニ付テ調査ラシテ居リマス、百圓ノ收入アル人ノ場合ヨリモ六十圓ノ收入ノ人ノ方ガ米價ニ堪ヘ得ル限度ハ低クナル、ソレカラ收入ノ少イ人ニナレバナル程、必需品ニ喰込マレルコトガ多クテ、其伸縮ノ能力ガ少クナル、色々ナ計數ガサウ云フ風ニ出テ參リマス、物價ガ騰貴シテ貨幣價值ガ下落シタ場合、百圓ノ收入ノアル人デモ、必需品其他ノ物價ガ騰貴アル者ト同ジヤウナ状態ニ陥ッテ來ル、隨テ米價ニ堪ヘ得ル限度、家計米價ト云フモノニ對シテ、其人ダケニ付テ見タ場合ニハ低クナッテ來ル、限度ガ低クナッテ參リマス

○原委員 例ヘバ此表ニアリマスルガ、修

養娛樂費、交際費、嗜好品費、副食物費、貯金ト云フヤウナモノガアリマスルガ、貯金ハ勿論出來ナクナルシ、修養娛樂費、嗜

好品費ト云フモノモ拂ヘナクナル、隨テ副食物費モ拂ヘナイト云フ所マデ窮迫シタ場合ニハ、米代ダケニナッテ來ル、サウナレバ勢ヒ家計米價ト云フモノハズツ下ッテ來ルノデハナイカト云フコトヲ伺フノデアリマス

○後藤國務大臣 サウ云フ時分ニ賃銀ノ騰貴モナイ、ソレカラ他ノ收入ノ増加ト云フヤウナコトモ伴ハナイ、唯物價ダケガ騰貴スル、景氣ハ一ツモソレデ好クナラナイト云フ事態ノ時ニハ、今ノ御話ノヤウニナル、併シ多クノ場合他ノ必需品ノ價格ガ騰貴スルト云フヤウナ事態ハ、全體的ニ物價ガ騰貴シテ景氣ノ好クナル時デアル、隨テ固定收入ノ人ノ賃銀俸給ガ直グ上ルトハ申シマセヌケレドモ、ソレガ適當ニ或ル時機ニ順應シテ參ルヤウナコトデ、調節ガ或ル程度ニ取レテ行ケバ、サウ云フ場合ニハ自ラヤハリ家計米價ト云フモノヲ割出シタ最高迄高クナッテ行ッテモ宜イト云フコトニナルノデヤナイカト思フ、家計費ノミカラ割出シタモノニ物價ノ關係等モ考慮スルト云フノハ、ヤハリソレガ先走ル時モアレバ、後カラ追駈ケル時モアリマスケレドモ、ソコヲ調節ヲ取ッテ行クト云フコトニナルノデアリマス、ソレガ實際ノ場合ニハ可ナリム

ヅカシイトモ申サレマスケレドモ、當局ガ運用スル時ニナレバ、ヤハリ大體キチンキチント物價ガ決ッテ行クヤウニシテ行ク外ナイノドラウト思ヒマス

○原委員 私ガ斯様ナ質問ヲ致シマスルノハ、今日ノ經濟界ノ趨勢ニ依リマスルト、生活必需品——米以外ノ物價ガ段々非常ニ上ッテ參リマシテ、而モ之ニ伴ッテ一般ノ收入ガ殖エナイヤウニナル結果ニナリハシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、即チ勤勞階級ノ人ガ割合收入ガ殖エズシテ、サウシテ他ノ物價ガ非常ニ上ッテ行ク、サウシテ段々生活ノ困難ヲ感ジテ來ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、家計米價ト云フモノガ段々下ッテ來ハシナイカ、斯ウ云フヤウナ計算ノ方法ニ依ッテ、算出スレバ、家計米價ト云フモノハ段々下ッテ來ハシナイカト思ヒマス、此家計米價ト云フモノガ下ッテ來タ場合ニ於テハ、米價ノ最高公定價格ハ家計米價ヲ基本ニ致シマスルカラ、サウ云フ場合ニ於テハ所謂最高公定米價ト云フモノヲ算出スル上ニ於テ、生活必需品デアル米以外ノ物價ガ上ツタコトニ依ッテ、却テ米價ノ最高價格ヲ壓迫スルト云フヤウナ現象ヲ來タスノデヤナイカト云フコトヲ考ヘマサルガ、此點ニ付テハ如何デス

○後藤國務大臣 ソレガ物價其ノ他ノ經濟事情ト云フモノヲ考ヘテ、最高ヲ決メナケレバナラスト云フコトヲ茲ニ出シテ居ル所以デアリマス、全部ガサウダト云フコトハアリマセヌガ、ソレガ一ツノ理由デアリマス、併シ實際ノ計算デ、只今御心配ニナルヤウニ家計費カラ割出シタ米價ガ下ルトハ、實ハ想像シナイノデアリマス、併シ萬一他ノ狀況ハチットモ變ラズニ物價ダケ上ル、他ノ收入ハチットモソレニ追隨シナイ、サウスルト却テ家計米價ノ計算ノ上カラハ米價ハ下ッテ來ル、又下ノ方デ生産費ヲ標準トシ、物價其ノ他ノ經濟事情ト云フモノハ上ノ方ニ行ッテシマフ、上ノ方ハ下ッテシマフト云フコトニナレバ、非常ニ幅ノ狭イモノガソコニ出デ米穀法ト云フモノ、運用ガ出來ナクナリハセヌカト云フ、極端ナ場合ヲ想像シテ御考ニナルカモ知レマセヌガ、ソレハ吾々カラ見マスト殆ド想像シ得ザル極端ノ事情デアッテ、相當ナ幅ヲ維持シツツ、其中デ米價ガ動クコトニ依ッテ生産者ニモ利益ガアリ、消費者ニモ著シイ壓迫ニナラスト云フコトデ、米價ガ或ル範圍内ニ置カレテ行ク、其狀態ヲ新米穀統制法ニ依ッテ齋スコトガ出來ルデアラウト思フノデアリマス、今ノ家計米價ノ計算ノ結果ガドウ

ナルカト云フコトハ、モウ少シ米穀部長カラ御説明シタ方ガ御分リニナリマセウト思ヒマス

○荷見政府委員 只今ノ御質問ハ家計米價ヲ算出致シマス際ニ米ノ値段ガ騰貴シナイデ、他ノ副食物費、嗜好品費、交際費、修養娛樂費、旅行費等ノ費用ガズツ騰貴スル、又ハソレ等ガ騰貴シナイデモ、其他ノ必需品ガ非常ニ騰貴シテシマフト云フ場合ニハ、ドウナルカト云フヤウナ御質問ノヤウニ思ヒマシタ、私共ハ此品目ヲ除イタ以外ノ生活必需品費ダケガ飛拔ケテ騰貴スルト云フコトハ、餘リ想像致シテ居リマセヌノデ、大體物價ガ騰貴致シマスル場合ニハ、總テガ釣合ッテ騰貴スルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウナッタ場合ニハドウカ、ソレガ全部騰貴致シマシタ場合ニ總收入ノ同ジモノヲ取ッテ置キマスト云フト、御話ノヤウニ米代ト云フモノハ動カスコトノ出來ナイモノニナル、ソレデ調査致シマス家計米價ノ調査世帯ト云フモノ、一箇月當リノ收入ト云フモノハ、物價ガ騰貴致シマシタ際ニハ相當高イモノヲ取ラナケレバйкаス、詰リ低イ收入ノ階級ノ者ハ米穀政策ノ對象トシテハ不適當デアル、斯ウ云フ風ナ結果ニナル外ハナカラウト思フノデ

アリマス、例へば只今取ッて居リマスノハ

マス

五十圓以上八十圓未満ノ者、八十圓以上百

○後藤國務大臣 ソレハ只今米穀部長カラ

圓未満ノ者デアリマスガ、其五十圓以上八

モ申上ゲタヤウニ、サウ云フ事態ニナレバ

十圓未満ノ者ノ家計費ヲ調べマシタノデ

ヤハリ家計米價ヲ調査スベキ對象トシテ取

ハ、殆下其米價ニ餘地ガナイヤウナ低イ費

ル者ノ收入額ノ標準ヲ變更サレナケレバナ

用ヲ出サナケレバイケナイト云フヤウナ場

ラヌコト、思フ、サウスルト變更サレタ

合ニナリマスレバ、ソレハ其家計調査ニ依ッ

ラ、元ノ詰リ低イ人達ハ非常ニ困ルデヤナ

テ家計米價ヲ出スノガ不適當ナ經濟界ノ場

イカ、ソレハサウ云フ人達ノ米ノ高クナル

合ニナルノデアリマシテ、結局八十圓以上

爲ニ困ルト云フ事柄ノ救済ハ、米穀政策デ

百圓未満ノ階級ニ米穀政策ノ對象ガ移ラナ

其邊ハ行カナイ問題ニナッテ來ルト思フ、

ケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルト思ヒ

ソレハ又別ノ手段ヲ講ジテヤラナケレバナ

マス、結局世帯ノ收入ノ程度ヲ、物價ガ一

ラス、ヤハリ物價ガ一般ニ騰貴スル場合ニ

般ニ騰貴致シマシタ際ニハ高メナケレバナ

ハ、米ノ最高値ト云フモノハ、相當ノ高サ

ラヌト云フ結論ニナルヤウニ考ヘマス

ニ之ヲ持ッテ行カナケレバナラヌト云フコ

トニ考ヘテ居リマス

○原委員 私ノ聞カントスル點モ其點デア

ハ、此家計費ノ計算ノ基本ニナッテ居リマ

リマシテ、一般ニ物價ガ騰貴ヲ致シテ參ル

スル人々ノ收入ガ一向殖エズシテ、物價ガ

ニモ拘ラズ、ソレ等ノ人々ガ生活ノ困難ヲ

段々上ッテ行クト云フヤウナ場合ニ於キマ

感ズルカラト申シマシテ、ヤハリ米價ヲ壓

シテハ、無論サウ云フ場合ニハ生活ノ困難

迫スルヤウナコトハイケナイノデアッテ、如

リソレ等ノ人ガ生活ニ困難ヲ感ジ、隨ッテ家

何ニ生活ノ困難ヲ感ズルヤウナ場合ニ於テ

計米價ノ基本ニナッテ居ルソレ等ノ額ガ減ッ

モ、ソレハヤハリ別ノ方法ニ依ッテ救済ス

テ來マスカラ、隨ッテ家計米價ト云フモノガ

ルト云フ考デナクチャナラヌノデアッテ、ヤ

下ッテ來マスカ、サウ云フヤウナ場合ニヤ

ハリ他ノ物價ガ騰レバ、米價ト云フモノモ自

ハリ米價ヲ壓迫スルヤウナコトニナッテ來

然ニ上ゲテ行クヤウナ、米穀法ノ運用ヲシ

同ッテデアリマス、只今ノ御答辯ニ依リマ

話ノヤウナ状態ニ近付イテ來ル場合ガアル

シテ、其點ハ明瞭ニナリマシタカラ、家計

ト思ヒマス、併シ最高價格ニナリマスレバ

米價ノ點ニ付キマシテノ私ノ質問ハ是デ打

最高價格ノ申込ニ依ッテ米ヲ賣ラナケバナ

切リマス

ラヌコトニナリマスカラ、一方ニ同ジ日ニ

次ニ伺ヒマスルノハ出廻調節、即チ季節

買ヒ、一方ニ同ジ日ニ賣ルト云フヤウナ事

的ノ調節ノ點デアリマスルガ、季節調節ハ

柄ハ必要ノナイコト、思ヒマス、數量調節

先達ノ大臣ノ御説明ニ依リマスルト、數量

ト云フコトニ依ッテ、自然ノ結果トシテ米價

調節ニ重點ヲ置イテ居ルノデアッテ、價格ノ

ノ平準ヲヤハリ基礎トシテ居ナノデアリマ

調節ハ自然ノ結果トシテ見ルダケデアアル、

ス、全ク價格ト云フモノニ關係ノナイモ

サウ云フヤウナ御説明ノヤウニ伺ヒマシタ

ノトハ之ヲ考ヘテ居リマセヌガ、唯法規

ガ、此點ハ如何デセウ

方式ガ其數量ヲ調節スルト云フ一定ノ規格

○後藤國務大臣 大體サウ云フ趣旨デアリ

ニ依ッテヤッテ行カウ、サウシテ或ル限界ニ

○原委員 若シ季節調節ガ價格ノ點ニハ重

達シマスレバ、ソレガドレダケノ限界ヲ見

キヲ置イテ居ルトシマスルナラバ、此季節

タラ宜イカト云フコトハマダ考究ヲ致シテ

調節ハ時價ニ依ッテ買入レ、或ハ賣渡スル

居リマセヌガ、例へば最高價格三十圓ト云

ト云フコトニナッテ居リマス、所ガ偶々出廻

フ時ニ、二十九圓ニナッタト云フ時ハ出廻

調節ハ時價ニ依ッテ買入レ、或ハ賣渡スル

調節ヲ止メル、下ノ方ニ付テモサウデアアル、

ト云フコトニナッテ居リマス、所ガ偶々出廻

モウ最低價格ニ非常ニ近付イテ來タト云フ

最盛期ニ於ケル價格ガ最高公定米價ニ殆ド

時ニ、尙ホ出廻調節ヲ以テ賣ル方ダケヤッ

接近ヲ致シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キ

マシテハ、此出廻ガ非常ニ多イ、其場合ニ

更ニ出廻調節ヲスルト云フコトニナリマス

シナイノデアリマス、唯限界ヲ五十錢デ宜

レバ、勢ヒ最高公定米價ヲ上廻ルヤウナ現

象ヲ來シハシナイカト思ヒマスガ、サウ云

フヤウナ場合ハ如何相成リマスカ

ト思ヒマス

○後藤國務大臣 段々ヤッテ居リマス、御

○原委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、ヤ

ハリ出廻調節ニ付キマシテモ價格ト云フコ
トヲ無視スルノデハナク、考慮ヲスルト云

フコトデアリマスガ、就キマシテハ出廻調
節ヲスル場合ニ於キマシテ、其當時ノ時價

ニ付キマシテ大體政府ニ於テハ一定ノ理想
的ナ價格ト申シマスカ、一定ノ想定價格ヲ

決メテ置イテ、例ヘバ最高價格ガ三十圓、
最低價格ガ二十二圓、斯ウ云フヤウナ場合

ニ於キマシテ、大體政府ニ於テハ其中間デ
アル二十五圓トカ、二十六圓ト云フ所ヲ維

持シテ行カウト云フヤウナ目標ニ依ッテ、出
廻調節ヲヤルヤウニ致シマスルカ、或ハ其

當時ノ時價ガ中間デナクテモ、或ハ殆ド最
高、或ハ最低ニ近イヤウナ場合ハ無論ヤリ

マスマイガ、何カソコニ標準ガナイト最高
米價ニ近付イタラ止メル、最低米價ニ近付

ケバ賣渡ヲ中止スルト云フヤウナ、斯ウ云
フヤウナ漠然タルコトデハ到底此出廻調節

ト云フコトハ出來ナイト存ジマスガ、凡ソ
政府ニ於キマシテハ、此出廻調節ヲスルコ

トニ付キマシテモ、ヤハリ其當時ノ時價ニ
付キマシテ、一定ノ理想的ナ價格ヲ標準ト

シテヤルヤウニ致シマスルカ、或ハ其當時
ノ時價ガドレダケデアリマシテモ、ヤハリ

非常ニ出廻ッテ來ルヤウナ場合ニ於テハ買

入レル、又其後ニ於テハ賣渡ヲスルト云フ
コトニ致シマスカ、其點ニ付イテモウ一邊

御答ヲ願ヒタイ

○後藤國務大臣 數量調節ハ、無論御話ノ

ヤウニ價格ニ影響スルモノトハ考ヘテ居リ
マスガ、先ヅ數量ヲ調節スルト云フ一定ノ

規格方式ニ從ッテ、數量ヲ調節シテ行クト云
フ働キデ、其結果ヲ期待シテ居ルノデアリ

マス、併シ其結果ガ最高最低ニ觸レテ來ル
ト云フ場合ハ止メナケレバナラヌガ、其止

メル限界モ相當ニ考究シテ定メタイと思ヒ
マス、即チ價格ヲ狙ッダケデ、數量ノ方

ニ基準ヲ置イテ調節シヨウト云フノガ出廻
調節ノ趣旨ナノデアリマスカラ、自ラ調節

ノ方法トシテハ、チャンスト具體的ニ計畫ガ
立チ、目安ヲ付ケテ、ソレニ依ッテ一定ノ

米ノ調節ヲ考ヘテ來ルヤウニナルガラウト
思ヒマス、今ノ出廻調節モ考方トシテハ左

様ナ譯ナノデアリマス

○高橋委員 今ノ原君ノ質問ニ對シマシテ

ノ御答辯ガアリマシタガ、價格ガ異常ニ騰
貴スル場合ニハ、ソレハ買ッテ賣ラナケレバ

ナラヌト云フ結果ヲ産ムカラ、買上ヲシナ
ケレバナラス、斯ウ云フ御話ガアツタ、政府

ガ茲ニ出廻時期ニ買上ヲスルト云フ場合ニ、
價格ヲ示シテ、サウシテ一般ノ希望者カラ

ソレヲ買上ゲルト云フ場合ニ、多分其價格
ガ希望者ノ意ニ滿チタ場合ニハ、其品物ガ

市場ニ殺到シテ來ル、サウスルト或ル程度
マデハ其値ハ政府ガ買上ヲ止メタト云フコ

トノ爲ニ、其時價ト云フモノヲ賣崩ス傾向ガ
多分ニアラドラウト考ヘル、サウスルト自

然其價格ト云フモノニ或ル一定ノ、農林省ナ
ラ農林省ニ方針ガナイト、ドウモ維持サレ

ナイヤウニ考ヘル、是ハ原君ガ今御尋スル
ノト同ジヤウニ、其點ヲ私共心配シテ居

ル、幾ラデモ買上ゲルト云フコトニナレバ
別問題デアルガ、ソレヲ止メテシマフト云

フコトニナルト、市場ニ殺到スル、各自ニ
分配サレテ居レバコソ、初メテ數量ノ平衡

ガ保テルノデアリマスガ、市場ニ殺到シテ
買手ガナイト云フ時ニナッテ來マスト、値段

ト云フモノハ自然賣崩レル、需要供給ノ關
係デ時價ヨリモ安クナル、サウシテ出廻期

ニ買ッテ、其時價ヲ適當ナ所ニ置カウト云
フ考トハ、反對ノ現象ガ實際問題トシテ起ッ

テ來ハセヌカト思フノデアリマスガ、其點
ノ御考ハドウデアリマセウカ

○後藤國務大臣 ソレハ左様ニハ考ヘマセ
ス、政府ガ買フノハ時價デ買フノデアリマ

ス、サウシテ凡ソ買フ數量ハ出廻ノ月別平
均カラ超過スル分量ヲ推定デ極メテ、茲ニ

一定ノ計畫ニ基イテ買ッテ參リマス、隨テ餘
リニソレガ市場ニ翕然トシテ出テ來ル、ソ

レガ時價ヨリ非常ニ高イ値デ政府ガ買フコ
トニナルト、非常ニ歡迎サレルコトモアリ

マセウケレドモ、政府ハ此出廻調節、數量
調節ハ時價デ買フ、時價デ買フコトニ依ッ

テ數量ノ市場ニ殺到スルコトヲ寧ロ防ガウ
ト云フ御話ト、反對ノ結果ヲ目標トシテ出

廻調節ハヤッテ居リマス、是ハ其效果ヲ奏ス
ル積デアリマス、御話ノヤウナ結果ニナル

ト云フコトハ他ノ米價ノ先行ガ安イトカ何
トカ云フコトハ起ルコトモアリマセウガ、

政府ノ出廻調節ノ作用ガ、却テ反對ノ結果
ヲ喚ビ起スト云フコトハナイ積リデ居リマ

ス

○原委員 只今ノ點デスガ、例ヘバ十一月

ノ時價ガ二十五圓ト致シマス、ソコデ出廻
調節ノ爲ニ政府ガ買上ゲマス、サウスレバ

自然ニ時價ハ段々騰貴スルト云フコトガ當
然デアラウト思ヒマス、左様ナ場合ニ於テ

今度十二月ニナッタラ時價ガ二十七圓ニナ
タ、最高米價ハ三十圓ダト云フヤウナ場合

ニ於キマシテ、十二月ハ二十七圓デ、ソレ
ガ段々騰ッテ參リマシテ、一月ハ二十九圓ニ

ナッタト云フヤウナ場合ニ、出廻調節ニ依ッ
テ米價ヲ段々釣上ゲテ行ッテ、サウシテ最高

價格ニ接近スル所マデ買上ゲナケレバナラ
スト云フコトニナルノデハナイデスカ

○後藤國務大臣 サウ云ツタ場合ガ起ルカ
モ知レマセヌ、出廻調節ノ方ハ推算數量ニ

依ッテ十一月ニ幾ラ、十二月ニ幾ラト決メ
テ、ソレヲ買フノデアリマスカラ、其時ノ

米價ガ上リ加減、或ハ供給不足勝チノ時デ
アリマスレバ、ソレヲヤルト云フト米價ヲ

上ゲテ行ク速度ヲ、促進スルト云フヤウナ
影響ガ現ハレテ來ルカモ知レマセヌ、併シ

ソレト反對ノ現象ノ場合ハ、非常ニ米價ヲ
下ゲルコトニナッテ行ク譯デアリマス、併シ

出廻調節ト云フモノハ、米價其モノヲ直接
ニ狙ハズニヤルト云フ所ニ非常ニ妙味ガア

ルノデス、最高最低ニ近付イタ所デハヤレ
マセヌ、是ハ其數量調節ト、價格調節トヲ

全ク同ジニ考ヘテ、寧ロ價格調節ヲ狙ッテ
ヤルト云フコトニシタナラバ、最高最低ト

云フモノヲ折角決メテヤルト云フコトノ意
味ハ全ク失ハレルコトニナリマス

○原委員 私共ノ心配致シマスルノモ只今
農林大臣ノ御答辯ニナリマシヤウニ折角

此米穀統制法ニ依ッテ、最高最低ヲ決メテ居
ルノニ拘ラズ、一面ニ於テ季節調節ヲヤリ

マシテ、ソレニ依ッテ價格調節ヲ同時ニヤ
ルト云フコトニナリマスレバ、此最高最低

ト云フモノヲ決メタコトガ無意味ニナッテ
參リマス、併シ勢ヒ此出廻調節ヲヤレバ價

格ニ變動ヲ來スノハ當然デアリマス、隨テ
此最高最低ト云フモノヲ定メテ居ルニモ拘

ラズ、一面ニ於テ出廻調節ヲヤルト云フコ
トガ此法律ノ矛盾デハナイカト私共ハ思フ

ノデアリマス、只今申シマシタノハ買入ノ
方デアリマスガ、買入ヲスレバ段々上ッテ參

リマスガ、賣渡ノ方ヲ考ヘマスレバ、賣渡
ヲ何時スルカモ分ラヌト云フヤウナ場合ニ

於テハ、賣渡ヲ豫想スル場合ニハ、ヤハリ
米價ヲ壓迫スルヤウニナッテ參リマス、ソレ

デ出廻調節ト云フヤウナコトヲ規定シタコ
トハ、米穀統制法自體ニ於テ矛盾ガアルノ

デハナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマ
シテ、季節調節ニ付キマシテハ、ヤハリ一定

ノ標準値段ト申シマスルカ、是カラ此間ダ
ケハ買フ、此間ダケハ賣ルト云フヤウナ、

ヤハリ標準ヲ極メテ置カナイト、非常ニ米
價ニ對シテ折角公定米價ヲ極メテ置キナガ

ラ、常ニ季節調節ニ依ッテ米價ヲ變動セシ
ムル、即チ此統制法ニ依リマシテ米價ノ安

定ヲ圖ルト云フコトガ一面ノ目的デアアルノ
ニ拘ラズ、此出廻調節ニ依ッテ常ニ米價ヲ

變動セシムルト云フヤウナ結果ニナルノデ
ハナイカト云フヤウニ思フノデアリマス

ガ、其點ニ付テノ御所見ハ如何デスカ
○後藤國務大臣 米價ヲ變動セシムル結果

ニナルト云フコトデハナイト思ヒマス、屢
繰返シテ申シテ居リマスガ、出來秋ニ米ガ

市場ニ殺到シテ、端境期ニ幾ラカカスレル
ト云フ爭ハレナイ現象ガアルノデス、ソレ

デ一定ノ計畫標準ニ從ッテ數量ノ調節ヲ致
シテ參ル、是ハモウチヤント極メテアル事

柄デアリマシテ、何時ヤルカ分ラヌ、ヤラス
カモ知レヌト云フノデハナク、出廻期ニハ

其推算カラ見テ、過剩ニ出テ來ル米ヲ、數
量ヲ決メテ買フ、ソレ以上買フト云フコト

ハナイノデアリマス、ソレ以下デアリマス、
其買フト云フノハ、今ノヤウニ最低最高ヘ

ク付クト云フ時ハ止メルダケデ、ソレハ
限界ガアリマスガ、米ヲ取扱フ者、即チ米

ヲ賣ル人、買フ人ノ側カラ見マスレバ、サ
ウ云フコトハ政府ガ行ッテ行クンダト云フ

コトニ依ッテ、米ノ先行ト云フヤウナモノモ
チャント判斷ガ出來ルノデアリマス、此季節

的ノ需給ノ山ト谷ノ出來ル關係ヲ、是デ防イ
デ置ケバ、自ラ其結果トシテ、平準ニナッテ

來ル、寧ロ其效果ヲ狙ッテ居ルノデアリマス
○原委員 此季節調節ノ點ニ付キマシテ

ハ、少シ不十分デアリマスルガ、此位ニシ
テ置キマシテ、其次ニ伺ヒマスルノハ、生

産ノ統制ノ點デアリマス、此生産統制ノ點
ニ付キマシテハ、先日來質問應答ガアリマ

シテ、大體分リマシタガ、此生産統制ニ關
スル規定ヲ、此米穀統制法ニ何故置カナカッ

タカ、元ハ生産統制ニ關スル規定ヲ置クト
云フヤウナ議論モアッタヤウデアリマス、然

ルニ此生産統制ニ關スル規定ガ本法案ニナ
イト云フコトハ、ドウ云フ原因デ之ヲ置カ

ナカッタカ、其點ヲ御同致シマス
○後藤國務大臣 是ハ米穀統制法ノ中ニ規

定ヲ置イテヤル性質ノモノデハナイト云フ
見解カラデアリマス、生産統制ノ方策ハ主

トシテ將來ノ増產計畫ニ調節ヲ加ヘルト云
フコトニ在ルト思ヒマス、又或ハ現在ノ米

作地ヲ寧ロ更ニ他ノ有利ナモノニ轉換スル
ト云フ途モ出テ來レバ、サウ云フ方法ヲ講

ズルト云フコトモ、ヤハリ一ツノ生産統制
ニナルドラウト思ヒマス、是ハ又具體的ノ

問題ニナルト、非常ニ實際ニ適合シタモノ
ヲ樹テナケレバナラス、寧ロ法制ヲドウス

ルト云フ問題ヨリモ、政府ノ行政ノ運用ノ
上ニ懸ル點ガ非常ニ大キイノデアリマス、

今度ノ米穀統制法ノ中ニ入レマセヌノハ、
米穀統制法ヲ御覽ニナリマシテモ御分リノ

ヤウニ、是ハ專ラ米穀ノ數量ト、時價トニ關
シテ極ク有力ナ統制ヲシテ行ク、出テ來ル

米ノ現狀ヲ抑ヘテ、ソレニ對シテ働イテ行カウト云フノガ此統制デアリマス、モウ一ツ生産ヲスルト云フ根本ニ邁ッテ之ヲドウスルカト云フコトハ、自ラ別個ノ方法ヲ考究シナケレバナラヌモノデアルト思ヒマス

○原委員 此生産統制ノ點ニ付キマシテハ、統制法ニ極メルベキモノニアラズシテ、他ノ方法ニ依ッテサレルト云フコトデアリマスガ、生産統制ニ付キマシテ統制法以外ニ、政府ニ於テドウ云フ御考ガアリマスカ

○後藤國務大臣 是ハ會ッテモ申上ゲマシタガ、米穀統制調査會ニ於テ、一般米穀政策ノ一ツトシテ問題ニナリマシテ、其答申モアツタ譯デアリマス、内地、朝鮮、臺灣等全國内ヲ通ジテ、將來ノ米ノ生産ニ付テ

統制ヲ圖ル具體的ノ方法ヲ考究シテ掛ラナケレバナラヌト云フ譯デアリマス、ソレハソレノ機關デ調査モシ、具體的ノ調査ヲ進メテ方策ヲ樹テタイ、斯ウ云フ考デアリマス

○原委員 此機會ニ於キマシテ拓務大臣ニ一寸御伺シタイノデアリマスガ、先日ノ此委員會ニ於キマシテ、滿洲ニ於テハ成タケ米作ヲ獎勵セズニ、内地ニ於ケル米價ヲ壓迫シナイ程度ニヤルト云フ御話デアリマシタガ、今日ノ時局ニ鑑ミマシテ、滿洲ニ於

テハ小麥ヲ作ル、此小麥ノ増產計畫ヲヤルト云フコトガ、最も必要ノヤウニ考ヘラレマス、殊ニ滿洲ニ於キマシテハ、小麥ガ餘程適シテ居ルヤウデアリマシテ、小麥ノ増產計畫ヲヤレバ可ナリ有望デアルヤウニ聞イテ居リマスガ、之ニ付キマシテハ拓務省ニ於ケレマシテハ、滿洲ニ於テ小麥ノ増產計畫ガアリマスカ、ドウカ其點モ伺ヒマス

○永井國務大臣 原君ノ御意見ハ、私共モ同感ニ存ジマシテ、今吉林省ニ於キマシテ

試驗ヲシテ居リマス、自衛移民ノ主要ノ生産物ハ、小麥ト大豆デアリマス、ソレニ中心ヲ置クコトニナッテ居リマス

○三善委員 拓務大臣ニ質問致シマス、米穀ノ問題ハ先般來論議セラレテ居リマスガ、其根本方策ハ政府ニ於テ今回統制案ト

シテ立テラレテ居ルヤウデアリマスカレドモ、私共ノ考ヘル所ニ於キマシテハ、最近數年間我國ノ内地ノ米ガ壓迫ヲ受ケ、米價ガ相當下落ヲ致シマシタノハ、是ハ申ス迄モナク臺灣鮮米ガ移入セラレル結果、内地ノ米價ヲ壓迫致シテ居ルコトハ、爭ハレナイ事實デアルト思ヒマス、ソレデ此際米ノ問題ヲ解決スル上ニ付キマシテハ、ドウシテモ臺灣鮮米ニ對シテ考慮致サナケレバナラ

スコトハ勿論ノコト、思ヒマス、今回ノ統制法ノ中ニ臺灣鮮米ニ對シテ季節的調節ノ意味ニ於キマシテ、相當買上等ヲサレルノデアリマスガ、其買上セラレタル所ノ數量ハ、又朝鮮ニ賣拂ハレルノデアリマシテ、其米ガ再び内地ニ入ッテ來ルノデアリマス、然ルニ此朝鮮米ト、内地米トノ生産費ノ比較ヲ致シマスレバ、私ハ朝鮮ニ對スル生産費トシテノ確ナル御答辯ニハ、マダ接シテ居ナイノデアリマスルケレドモ、朝鮮ノ現在ノ水利組合ニ對シテ補助セラレル所ノ、其補助ノ基礎トナルベキ所ノ朝鮮米ヲ、何程ニ價格ヲ置イタナラバ、此水利組合ノ事業ガ完成シ、又其資金ガ銷却セラレテ行クカト云フノハ、即チ朝鮮米ノ價格ヲ生産費、其他カラ考慮セラレタモノデアルト思フノデアリマス、ソレニ依ッテ考ヘマスレバ、概一石八圓ト云フヤウナコトデアリマシタガ故ニ、先ヅ朝鮮米ノ生産費ガ八圓ソコノデハナイカト思ハル、ノデアリマス、是ハ生産費ト云ッテコノ答辯ハナカッタノデアリマスケレドモ、周圍ノコトカラ考ヘマスレバ、八圓ト云フコトガ推測シ得ラレルノデアリマス、斯様ニ致シマス、内地米ト比較致シマシテ、非常ナル相違ガアルノデアリマシテ、此安イ生産費ノ朝鮮ノ米ト、内地ノ

米トガ競争ノ出來ナイコトハ、勿論デアリマシテ、安イ米ガ内地ニ入ッテ來ルガ爲ニ、内地ノ米ヲ壓迫スルト云フコトハ、是ハ議論ノ餘地ハアリマセス、ソレデ私ハドウシテモ臺灣鮮米ニ對シテ是ノ輸出ヲ管理スルヨリ外途ハナイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、然ルニ朝鮮ノ米ニ對シテ移出ノ管理デモ政府ガヤラウト云フコトニナリマスルト、先般清家君ガ言ハレタヤウニ、動モスルト、朝鮮ノ官吏デアリナガラ、移出管理ヲヤラレルト云フコトハ朝鮮民ヲ苦シメルト云フノデ、朝鮮ノ官吏自身ガ朝鮮民ヲ煽動シ、或ル陳情トナッテ現ハレタト云フヤウナコトガアツタサウデアリマシテ、是ハ清家君ハ確ナ證據マデモ持ッテ居ラレルト云フヤウナコトデアリマスルケレドモ、私ハ是レ以上此事ハ追窮致シマセス、併ナガラ其事ハ、朝鮮ノ官吏ソレ自身ガ非常ニ根本的ニ間違ッテ居ルノデハナイカト、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、若シ朝鮮米ヲシテ移出管理ヲシテ、政府ガ相當ノ價格ヲ以テ買上ゲ、サウシテソレヲ内地ニ移入スルト云フコトニナリマスレバ、朝鮮ノ農民ハ安心シテ農業ニ従事スルコトガ出來得ルト私ハ信ズルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ或ハ北海道ノ如キ、北海道ニハ百萬石ノ燕麥ガ穫

米トガ競争ノ出來ナイコトハ、勿論デアリマシテ、安イ米ガ内地ニ入ッテ來ルガ爲ニ、内地ノ米ヲ壓迫スルト云フコトハ、是ハ議論ノ餘地ハアリマセス、ソレデ私ハドウシテモ臺灣鮮米ニ對シテ是ノ輸出ヲ管理スルヨリ外途ハナイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、然ルニ朝鮮ノ米ニ對シテ移出ノ管理デモ政府ガヤラウト云フコトニナリマスルト、先般清家君ガ言ハレタヤウニ、動モスルト、朝鮮ノ官吏デアリナガラ、移出管理ヲヤラレルト云フコトハ朝鮮民ヲ苦シメルト云フノデ、朝鮮ノ官吏自身ガ朝鮮民ヲ煽動シ、或ル陳情トナッテ現ハレタト云フヤウナコトガアツタサウデアリマシテ、是ハ清家君ハ確ナ證據マデモ持ッテ居ラレルト云フヤウナコトデアリマスルケレドモ、私ハ是レ以上此事ハ追窮致シマセス、併ナガラ其事ハ、朝鮮ノ官吏ソレ自身ガ非常ニ根本的ニ間違ッテ居ルノデハナイカト、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、若シ朝鮮米ヲシテ移出管理ヲシテ、政府ガ相當ノ價格ヲ以テ買上ゲ、サウシテソレヲ内地ニ移入スルト云フコトニナリマスレバ、朝鮮ノ農民ハ安心シテ農業ニ従事スルコトガ出來得ルト私ハ信ズルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ或ハ北海道ノ如キ、北海道ニハ百萬石ノ燕麥ガ穫

レルサウデアリマスガ、此燕麥ハ陸軍ガ馬糧トシテ御買上ニナルノデ、彼ノ不景氣ナ時デモ不景氣知ラズデ、相當ナ價格デ政府ガ買ッテ居ッタ、農民ハ此爲ニ非常ニ助ッテ居ッタト云フ事實ガアルノデアリマス、又其他ノ例ヲ求メマスレバ、或ハ葉煙草ノ買入ノ如キ、政府ノ煙草專賣ニ屬シマシテ、原料タル所ノ葉煙草ヲ政府ガ一定ノ價格、相當ナ生産費、之ニ運賃マデモ加ヘテ買上ゲテ居ルノデアリマスガ故ニ、農民ハ不景氣ノ時ニ拘ラズ、米ガ如何ニ安クテモ、葉煙草ヲ作ッテ居ル者ダケハ相當ナ利益ヲ收メテ心配ガナカッタ、斯ウ云フヤウナ實例ガアルノデアリマス、ソレデ朝鮮米ヲ相當ナ價格ヲ以テ政府ガ買入レ、是ノ移出ヲ管理セラレルト云フコトニナレバ、朝鮮ノ農民ハ安心シテ農業ニ従事スルノミナラズ、又ソレガ内地米ニ對シテ非常ナ好影響ヲ及ボシマシテ、内地米ヲ壓迫シナイト云フコトニナルノデアリマス、詰リ朝鮮ノ農民モ喜ビ、又内地ノ農民モソレニ依ッテ安心ガ出來ルノデアリマスルガ、斯様ナコトニ付キマシテ拓務大臣ハ——朝鮮ノ米ノ移出ヲ管理スルト云フコトニ付キマシテハ御同意デアルカ、ドウデアリマスカ、此點ニ付キマシテ率直ニ御答願ヒタイト思フノデアリマス

○永井國務大臣 朝鮮米ノ供給ノ過剩ノ爲ニ、内地米ガ打撃ヲ受ケルコトノナイヤウニ出來ルダケ統制シタイト云フ意味デ、此度ノ米穀統制法ガ出來タノデアリマスガ、先般申上ゲマシタヤウニ、朝鮮總督府ニ於キマシテハ、此米穀統制法ノ實施ヲ出來ルダケ補助スル、出來ルダケ效果のナラシメルト云フ意味デ、從來地方自治體ニ於テ、農林省ガ買上ゲマスル爲ニ貯藏致シテ居リマシタ色々ナ設備ノ外ニ、更ニ地方自治體ニ對シテモ貯藏ノ方法ヲ講ゼシメ、組合ニ對シテモ倉庫ノ建設ニ對シテハ援助ヲ與ヘ、農民ニ對シテ野積ノ爲ニ色々ノ金融、其他ノ方法ヲモ講ジマシテ、今日ハ以前ニ較ベマスレバ、非常ニ多量ノ貯藏ヲシテ、朝鮮米ノ爲ニ内地米ノ値段ガ賣崩サレルコトノナイヤウニ、此度ハ計畫ヲシテ居ル次第デアリマス、尙且朝鮮ノ内地ニ於キマシテモ、出來ルダケ粟食カラ米食ニ移ルヤウニ獎勵ノ方法モ講ジタイト思ッテ居リマス、又外國ニ朝鮮米ガ出テ行クヤウニ努力スルト云フ點モ十分注意シナケレバナラスト思ウテ居リマス、斯様ナ色々ナ方法ヲ講ジマシテ、朝鮮米ノ供給ノ過剩トナラナイヤウニ、此度ハ全力ヲ盡ス計畫デアリマスガ、斯様ナ計畫ヲシテ其效果ヲ見マシテ、尙且十分ノ

效果ヲ舉ゲルコトガ出來ナイト云フヤウナコトデアレバ、更ニ他ノ一層適切ナル管理ノ方法ナドモ講ズベキデアルト考ヘテ居リマス

○三善委員 只今ノ拓務大臣ノ御答辯ハ、先般來屢、此議場デ御答辯セラル、所ノ範圍ヲ脱シテ居ナイノデアリマス、朝鮮米ニ對シテ自治的統制ヲ行フ、或ハ又此米穀法ノ效果アラシムベク、或ハ外國ニ輸出スルトカ、朝鮮人ニ米ヲ食ハセルヤウニ有ユル方面カラ仕向ケテ、成ベク此米穀統制法ノ效果ノ舉ルヤウニシテ行クカト云フコトハ、是ハモウ先般カラ屢、當議場デ御述ニナッタコトデアリマスガ、私ハ此米ノ根本策ヲ講ズルニ付キマシテハ、從來ノ例カラ考ヘマシテモ、現在ノ實情カラ考ヘマシテモ、亦將來ノコトヲ考ヘマシテモ、ドウシテモ臺灣米ノ移出ヲ管理スルヨリ外ハナイ、ソレハ數字ニ依ッテ申上ゲテモ分ルノデアリマシタ、一昨日デアリマシタカ、河野君ガ米穀需給推算ノ表ニ付テ御意見ガアリマシタ、成程此表ニ依ッテ考ヘマスト、拓務省ノ表ト、農林省ノ御提出ニナッタ所ノ表ハ、五十萬石カラノ差ガアルヤウデアリマスガ、私ハ此點ニ付キマシテハ、何レガ本當デアルカ、或ハ何レガ誤ッテ居ルカト云フコトヲ此處

デ質ス者デアアリマセヌ、併ナガラ農林省ノ表ヲ以テ致シマシテモ、百萬石内外ノ米ガ五年ノ後ニハ餘ッテ來ル、又拓務省ノ計算ニ依リマスレバ、朝鮮米ガソレ以上五十萬石餘計ニ餘ルコトニナリマスル故ニ、朝鮮米ト内地米トヲ加ヘマシテ、百五十萬石ダケ供給過剩ニナルト云フヤウナコトガ、此表ニ現レテ居ルノデアリマス、此表ニ現レテ居ルニ拘ラズ、今後此事ヲヤッテ見ナケレバ效果ノアルカナイカ分ラヌカラ、ヤッタ上デ又其時ハ研究スル、斯様ニ此法律ヲ朝三暮四シテ、サウシテ農民ヲシテ安ンズルコトノ出來ナイヤウニサレルト云フコトハ、爲政者ノ爲スベキ途デハナイ、私ハ數字ニ明ニ分ッテ居ル以上ハ、此際此時ニ其根本問題ヲ解決スベキモノダ、斯様ニ考ヘテ居リマスルガ、矢張拓務大臣ハヤッテ見タ上デ、更ニ研究スルヨリ外ハナイ、斯様ナ御意見デアリマスルカ、又農林大臣ハ進ンデ自己ノ米穀政策ニ對シテ、ドウシテモ朝鮮、臺灣米ヲ管理スルヨリ外ハナイ、此事ガ一番適切ダト云フ御信念ハナイノデアルカ、此事ニ付キマシテ兩大臣ノ御意見ヲ更ニ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○永井國務大臣 政府ト致シマシテハ、此度ノ朝鮮ニ於ケル補助統制ガ十分ナル實效

ヲ擧ゲ得ルト信ジテ居ルノデアリマス、又

先般ノ數字ニ付テハ、當時説明ガ不十分デ、誤解ガアツヤウデアリマスガ、農林省ノ數字トシテ出テ居リマシタモノハ、是ハ申上ゲルマデモナク、朝鮮ニ於キマシテ農林省ト朝鮮總督府トガ協力ヲ致シマシテ拵上ゲタ調査デアリマス、即チ兩省協力ノ上デ拵ヘタ數字デアリマス、併シ朝鮮總督府自體ニハ何カ特別ノ數字ガナイカト云フヤウナ注文ガアリマシタノデ、少シ古イ所ノモノデアリマシタガソレヲ出シタサウデアリマス、併シソレハ唯御參考ノ爲メダケニ供シタモノ、ヤウデアリマシテ、現在ノ所政府ノ得マシタ基準ニ依ッテ色々考慮シテ参リマスレバ、現在政府ニ於テ施設致シテ居リマスル所デ十分ニ效果ヲ擧ゲ得ルト信ジテ居リマス、併ナガラ人間デアリマスカラ、間違ガアルカモ知レマセヌ、ヤッデ見テ、或ハ非常ニ齟齬ヲ來スヤウナコトガアレバ、三善君ノ御意見ノ如キハ大ニ考慮スベキモノデアルト思ヒマス

○後藤國務大臣 只今ノ所朝鮮ノ米ダケヲ別ニ管理ヲスルト云フコトヲ考ヘテ居リマセヌ、唯今度ノ新統制々度ノ下ニ於テ、季節出廻ノ働キニ於テハ、朝鮮ノ米ニ對シテ相當有力ニ作用ヲスルト云フコトニナルト

思ッテ居リマス

○三善委員 農林大臣ハ、只今統制案ヲ御出シニナッテ居ルノデアリマスルガ故ニ、此上更ニ管理案ヲ出ス御考ガ御有リニナラヌト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアルト思フノデアリマスルガ、拓務大臣ノ御答辯ニ依リマスレバ、是デ十分ダ、又イケナケレバ其時ニ考ヘルヨリ外ナイト云フヤウナコトデアリマシテ、統制案ニ對シテ相當ニ御自信ガアルヤウデアリマスガ、是ハ數字ノ上カラ考ヘマシテ等ハレナイノデアリマス、繰返シテ申シマスレバ、朝鮮米ガ年々増加シテ参リマスルノデ、農林省自身ガ御調べニナリ、或ハ拓務省ト御協議ノ上御調べニナッタ其米ノ數量ガ五年後ニ於テ百萬石ヲ超過スル、供給過剰ニナルト云フヤウナコトガ分ッテ居リマスルナラバ、此點ニ付テハ今ノ場合はガ防止策ヲ講ゼヌケレバナラヌ、固ヨリ之ニ對シテハ或ハ開墾其他ニ對シテ制限其他生産ノ統制ヲ圖ラル、コトモアルデアリマセウガ、現在ノ此數字ハ百萬石ノ過剰ト云フコトヲ明ニ示シテ居ルノデアリマスルガ故ニ、政府自身ガ過剰米ノアルト云フコトヲ信ジナガラ、其儘放任サレルト云フコトハ、私ハ宜シキ策デハナイト考ヘルノデアリマス、殊ニ先般來拓務

大臣ハ頻ニ朝鮮人モ帝國ノ國民デアッテ、一視同仁デナケレバナラヌ、差別待遇ヲシテハイケナイ、此信念ニハ吾々モ御同感デアリマスルガ、斯様ニ思ハレル其基礎ニ間違ガアリハシナイカ、一視同仁ニ扱ハナケレバナラヌ、差別待遇ヲ爲スコトハ出來ナイ、併ナガラ米ノ移出ヲ管理スルコトハ却テ朝鮮ノ農民ヲシテ安心セシメ、其業ニ安ンゼシムルコトガ出來ルコトニナルノデアリマスルガ故ニ、何モ其爲ニ差別待遇ヲシタノデモナケレバ、朝鮮人ヲ一視同仁ニ扱ハナイト云フヤウナコトハ起ラナイ筈デアアル、朝鮮人ハ進ンデ此事ガハッキリ分ルナラバ、喜ンデ政府ニ買上ゲテ貰フコトヲ希望スルモノナリト私ハ考ヘルノデアリマスガ、矢張其點ハ現在ノ統制法ガ宜シイ、移出管理ト云フコトハ朝鮮人ヲ差別待遇ヲスルヤウナ感ジヲ與ヘシムルト云フ御信念ニハ、今尙ホ御變リハナイノデアアルカ、其點ヲ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○永井國務大臣 政府ト致シマシテハ只今ノ所提出サレテ居ル米穀統制法ニ依リマシテ、十分ニ效果ヲ擧ゲ得ルト信ジテ居リマス、殊ニ朝鮮ニ於キマシテ、先般來申上ゲマシタヤウニ、此米穀統制法ヲ效果のナラシムル爲ニ行フ各種ノ貯藏ノ方法、又朝鮮人自身ノ食糧ノ改良、或ハ外國ニ對スル輸出ノ努力、各種ノモノヲ適用スルコトニ依ッテ十分ニ效果ヲ擧ゲ得ルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、今ノ所朝鮮人自身カラ管理ニ對スル要求ガアルト云フヤウナコトハナイノデアリマシテ、私ハ三善君ノ御説ハ十分ニ參考トシテ承ッテ居ルノデアリマスガ、今ノ所意見ノ變更ヲスベキ時機デアルトハ考ヘテ居リマセヌ

○三善委員 是レ以上申上ゲマスルコトハ意見ノ相違ニナルト思ヒマス、私ガ先刻申上ゲマシタ通り、内地米ノ米價ニ對シテ相當ニ效果アラシメルニハ、今ノ統制案デハ満足ニ出來ナイ、矢張朝鮮、臺灣米ニ對シテ移出管理ヲ爲スコトガ最モ適切ナリト考ヘルノデアリマスガ、此點意見ノ相違デアリマスルガ故ニ是レ以上申上ゲマセヌ

○東委員長 一寸三善君ニ御相談申上ゲマサガ、其問題ニ付キマシテデスネ、拓務大臣ハ統制委員會ニ於テ、此統制案ヲ實行スル爲ニ朝鮮ニ於ケル特殊ノ施設ヲ要スルトシテ、豫算ヲ要求シテ居ルト云フコトヲ屢々説明サレマシタ、只今モ其御説明ガアリマシタガ、其特別ノ施設ヲ此統制法ニ對シテヤルト云フノハ何々デアアルカ、金額及其事業ノ目的等、差支ナイ限りニ於テ一ツ御示

シヲ願フタラ、アナタノ方デモ大變便利ダト
思ヒマスカラ、一寸ソレヲ拓務大臣ニ御差
支ナカタラ、今ノ統制案ニ伴フ施設ニ對
スル豫算ノ要求ヲシテ居ルト云フノデスカ
ラ、其範圍トカ、目的トカ云フヤウナモノ
ヲ御示シ願ヘマセヌデセウカ、サウスルト
大變便宜ダト思ヒマスガ……

○三善委員 只今委員長カラモ御話ガアリ
マシタガ、朝鮮ノ自治的統制ニ對シマシテ、

拓務大臣ハ先般來此統制法ノ效果ヲ爲スベ
クソレノ行ハナケレバナラヌト云フ御意
見デアッタノデアリマス、而モソレニ對シテ
ハ倉庫ヲ造ル、野積ニ對シテ獎勵金ヲヤル、
又低利資金ノ融通等モヤルト云フヤウナコ
トデアリマシタガ、倉庫ハ何百萬石ヲ收容
スル所ノ倉庫ヲ御造リニナル積リデア
カ、是ハ朝鮮總督府自身ガ經營サル、所ノ
倉庫デア
ルカ、又民間ニ補助シテヤラレル
ノデア
ルカ、言換ヘマスレバ民間ニ補助サ
レルノガ
ドレダケデア
ッデ、朝鮮總督府自身
ニ倉庫ヲ御建テニナルモノガドレダケカ、
其收容力ハドレダケデア
ルカト云フヤウナ
コトヲ明
確ニ御願致シタイト思ヒマス、又
野積ニ對シテハドノ程度マデ補助シ、或ハ
獎勵サル、カ、又低利資金ヲドノ程度融通
サレルカ、此點ハ最近ニ豫算トシテ追加御

提案ニナルト思フノデアリマスガ故ニ、今
頃ハハッキリ御分リニナッデ居ルト思ヒマス
ガ、此事ハ併セテ統制法ヲ審議スルニ付キ
マシテ、餘程重大ナル問題デア
ルト思ヒマ
スガ故ニ、此機會ニ承ルコトガ出來マシタ
ナラバ、洵ニ幸福ダト思ヒマス

○東委員長 差支ナカタラ書イタモノデ
モ御示シ下サレバ、結構デス、然ルベク御
説明ヲ……

○永井國務大臣 只今委員長カラモ、三善
君カラモ御尋ニナリマシタ、出來ルダケ米
穀統制法ヲ效果のナラシムル爲ニ補助ヲス
ル計畫ハ、大體先般來申上ゲマシタ種類ノ
コトデアリマスガ、此計畫ハ今拓務省、農
林省、ソレカラ大藏省トノ間ニ内容ニ付テ
協議ヲ進メテ居ル所デアリマス、ソレデ是
ハ間モナク何等カノ形ニ於キマシテ、追加
豫算ニ計上シテ御審議ヲ願フコトナルノ
デアリマ
セウガ、其内容ニ付キマシテ詳シ
イコトヲ申上ゲルコトハ、今暫ク後ノコト
ニシテ戴キタイト思ヒマス

○三善委員 今御成案ガナケレバ、ソレヲ
要求スルコトモドウカト思ヒマスケレドモ
ガ、少クトモ此米穀統制法ヲ審議シマス上
ニ付キマシテ、農林省自身ガ倉庫ヲ御建テ
ニナルトカ、或ハ此朝鮮米ニ對シテ買入資

金ヲ相當ニ御使ヒニナルト云フヤウナコト
デアリマスガ故ニ、是ガ補助機關トシテ朝
鮮總督府ガオ遣リニナルナラバ、ドノ程度
デア
ルカト云フコトガ分ラヌケレバ、此統
制案ヲ審議スル上ニ付テ、非常ニ私共トシ
テハ困ル問題デア
リマスルガ、是ハ今御成
案ガナケレバ御聽キ致シテモ致方ガアリマ
セヌガ、成ベク御成案ガ出來次第速ニ出來
マスルナラバ此委員會ノ議了前ニ御示シ下
サレバ洵ニ仕合ト思ヒマス、尙ホ進ンデ滿
洲ノコトニ付テ御尋致シタイト思フノデア
リマスガ、此滿洲ニ付キマシテノ產米ハ、

是ハ大ニ研究シナケレバナラヌ、内地ノ米
ヲ壓迫シナイヤウニシナケレバイカスト云
フヤウナコトヲ、先般御述ニナッタヤウデア
リマスルガ、私は是ハ頗ル憂慮致シテ居
ルデア
リマス、現在ニ於キマシテモ、或ハ
武裝移民トカ何トカ云フ移民ヲ計畫シテ居
ラレルノデア
リマシテ、洵ニ此計畫ニハ吾
吾ハ非常ニ同意ヲスルノデア
リマスケレド
モガ、滿洲ニ米ヲ作ラセナイヤウナコトヲ
御考ヘニナ
ッテモ、農民ガ向フヘ行ッタナラ
バ、第一ニ著眼スルノハ一番收穫ノアル、
又一番利益ノアル所ノ農產物ヲ作りタイト
云フノハ、是ハモウ爭ハレナイ、如何ニ小
麥ヲ栽培セヨ、高粱ヲ栽培セヨ、或ハ大豆

ヲ栽培セヨト言ハレマシテモ、米ヲ作ッタ方
ガ利益デア
ルト云フコトニナレバ、ドシド
シ米ヲ作ルト云フコトニナラナケレバナラ
ヌト思ヒマス、又朝鮮ニ於キマシテモ、或
ハ綿ヲ栽培スル、其方面ノ補助ヲ與ヘテ、
ソツチノ方ヲ獎勵スルト云フヤウナ御考モ
アリマスケレドモガ、内地ノ米ノ値段ガ相
當ニシマシテ、米ヲ作ッタ方ガ利益デア
ルト云フコトニナリマスレバ、矢張滿洲ニ行
タ
人モ朝鮮ノ人モ、進ンデ米ヲ作ル、又水田
ニナリ得ベキ所ノ面積モ相當アルヤウデア
リマシテ、之ニハ別段ニ工事ヲ施サズシテ
直チニ水田ガ出來ルト云フコトデア
リマス
ガ故ニ、之ヲ如何ニカ御考ヘニナラナケレ
バ、再ビ内地米ヲ壓迫スルヤウナコトニナ
リハシナイカ、私ハ滿洲問題ニ對シマシテ、
我國ノ産業ト軋觸シナイ限りハ大ニ助長モ
シ、發達モセシムル必要ガアルト思ヒマス
ケレドモガ、内地ノ米ヲ壓迫スルヤウナコ
トハ大ニ慎マナケレバナラヌト思ヒマス
ガ故ニ、唯成ベク米ヲ作ラセナイヤウニス
ルト云フヤウナ御考デハ、是ハ其目的ヲ御
達シニナルコトハ出來ナイト思フ、騎虎ノ
勢、矢張米ヲ作ッタ方ガ宜イト云フコトニナ
ルナラバ、米ヲ作ル方ニ進ンデ參ルノデア
リマスガ故ニ、之ニ對シテ或ハ開墾ノ制限

トカ、或ハ水田ニ對シテ許可制トカ何トカ、斯ウ云フ確乎タル方針ガナケレバ、漫然作ラセナイト云フ程度ノモノデアラナラバ、再ビ内地米ヲ壓迫スルヤウナコトニナリハセヌカト憂慮スルノデアリマスガ、此點ニ對シテ御考ガアリマシタナラバ、御答辯ヲ願ヒタイ

○永井國務大臣 滿洲ニ於ケル米作ノ影響ニ付テ御心配ニナルコトハ御尤ト存ジマス、隨テ政府モ、内地カラ滿洲ニ移住致シマスル移民ニ對シマシテハ政府ガ直接指導モシ、且ツ經營モシテ居ルノデアリマスカラ、米作ヲ獎勵スルト云フガ如キコトハ、決シテシナイ方針デアリマス、先程モ申上ゲマシタヤウニ、政府ノ直接ノ指導竝ニ經營ノ下ニアリマスル農業ニ對シマシテハ、小麥トカ大豆トカ云フモノヲ主ニシテ居ル次第デアリマス、又滿洲國自體ガ、自分ノ國ノ農民ニ對シテ農業ヲ營マシムルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニモ、成ベク我國トハ衝突シナイ相互扶助ノ經濟關係ヲ持チタイト云フコトガ、政府ノ希望デアリマス、既ニ今日デモ或ル種類ノ産業ニ對シマシテハ、滿洲ノ方デモ委員會ヲ組織シ、内地ノ方デモ委員會ヲ組織シテ、能ク民間事業トモ能ク了解ヲ遂ゲテ、相互ニ打撃ヲ

受ケナイヤウニシヨウト云フ議ガ起リテ居ル位デアリマシテ、政府當局者ノ間ニ於キマシテモ、此點ハ十分ニ協議ヲ遂ゲテ行クコトガ必要デアルト考ヘテ居リマス、又例ヘバ粟ノ如キ、既ニ滿洲國デ生産サレテ、ソレカラ朝鮮ニ這入ルト云フヤウナ風ニ、將來米モ亦ナリハシナイカト云フヤウナ御心配モアリマセウガ、粟ニ對シマシテモ、今日ハ滿洲國カラ來ルモノニハ、關稅ノ上ニ於テモ十分内地ノ生産ヲ保護スルヤウナ方法モ講ジ得ルヤウニナッタノデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ於キマシテモ、吾々ノ利益ヲ擁護スル手段モアルト私ハ考ヘテ居リマス

○久山委員 只今ノ滿洲ノ問題ニ對シテ御尋致シマス、拓務大臣ノ御意見ハ能ク拜聽致シタノデアリマスガ、併シ其御話ノ基礎ハ、内地カラ滿洲ニ移住スル人ノ大體ノ御方針ヂヤナイカト思ヒマス、滿洲ノ國境ト河一ツ隔テ、御承知ノ朝鮮ガアリマス、朝鮮人ハ滿洲ノ治安ノ平定サレルノヲ今日待兼テ居ルヤウナ狀態デアリマス、而モ其朝鮮人ハ非常ニ米作ガ得意デアリマス、滿洲人ハ水ニ入ルコトヲ嫌フノデアリマスガ、朝鮮人ハ水ノ中ニ入ルノヲ何等厭ハナイ民族デアリマス、現ニ東邊道ニ參リマシテモ、或ハ

吉林省ノ一部ニ參リマシテモ、朝鮮人經營ノ水田ガ澤山アルノデアアル、隨テ只今拓務大臣ノ御述ニナリマシタヤウニ、將來此米作ヲヤラセナイ、成ベク粟、大豆ヲ作ラセルト云フ御方針ニ對シマシテ、私ハ將來ノ朝鮮ノ移住民ノ前途ヲ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、御承知ノ通り日本ノ内地カラ滿洲ニ參リマシテ、生活程度ノ低イ、而モ勞働力ノ非常ニ強イ所ノ滿州人ヲ相手ニ、對等ノ農業ヲヤツテ行カウト云フコトハ、非常ニムツカシイト思フノデアリマス、唯朝鮮人ハ今マデノ實例ニ徴シマシテモ、十分滿洲人ニ對抗シ得ル能力ヲ有ッテ居ルノデアリマス、其朝鮮人ガ鴨綠江ヲ越エ、或ハ豆滿江ヲ越エマシテ、ドン／＼滿洲ニ入ッテ行ク、恐ラク今後數十萬ノ朝鮮人ガ移住スルト考ヘマスガ、其朝鮮人ニ對シテ尙ホ米ヲ作ラセナイト云フヤウナ方針ガ、徹底スルカドウカト云フコトハ、大ナル疑問ガアラウト思フノデアリマス、此點ニ對シマシテ拓務大臣ノ御答辯ヲ御願致シマス

○永井國務大臣 滿洲ニ於ケル日本人ノ中、内地カラ移住シテ居リマスル者ニ對シテハ、今日左程ノ問題ガナイガ、朝鮮ノ方カラ移住シテ居ル者ニ對シテハ、心配スベキ事態ヲ生ジナイカト云フ御質問デアリマ

スガ、此方面ノ心配ハ決シテナイトハ申サレナイノデアリマス、ソコデ是等ノ朝鮮人モ亦日本政府ノ指導ニ依リマシテ、出來ルダケ内地ト矛盾シナイヤウナ種類ノ生産ニ從事セシムルト云フヤウニ、指導ヲシナケレバナラスノデアリマス、又先日池田議員ノ御話ノアリマシタヤウニ朝鮮人ノ生産ノ農業ヲ出來ルダケ政府ガ指導シテ、移動性ヲ有スルヤウナモノニスルト云フ必要モアルデアラウト存ジマス、又滿洲國政府ノ指導ニ屬スルモノニ對シマシテハ、滿洲國政府ト日本政府トノ間ニ、十分相互扶助ノ經濟關係ヲ確立スベク既ニ了解モアリ、又將來其方針ヲ徹底シテ行カナケレバナラスト思ヒマス、併ナガラソレデモ尙ホ外國ノコトデアアルカラ、ドウ云フヤウナ變化ガ起ッテ來ルカモ知レナイト云フ御心配モアラウト思ヒマス、現ニ滿洲ニ出テ居リマスル朝鮮人ハ粟ヲ栽培シテ、其粟ハ現ニ朝鮮ニ入ッテ來ルノデアリマスガ、ドウシテモ内地ノ農村ヲ擁護スル必要カラ、外ニ於テ朝鮮人ノ栽培シテ居ル粟ヲ、無制限ニ入レルコトハ危險デアルト思ヘバ、ソレハ關稅制度ニ依リ、之ヲ防禦スルト云フコトモ、今日現在ノ米穀統制法ノ中ニモ、既ニ認メラレテ居ル所デアリマス、純然タル外國カラ入ッテ

來マス米デモ、十分關稅ノ障壁ニ於テ、之ヲ防禦スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、已ムヲ得ナイ場合ハ、又ソレ等ノ立法的方法ニ依ッテモ、日本ノ農村ヲ保護スル方法ハ講ズルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

○久山委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、大體諒承致シタノデアリマスガ、今一ツ私ハ滿洲ノ方面ニ關スル問題ニ付テ、御尋致シテ置キタイノデアリマス、私昨年一兩度滿洲ニ參リマシテ、色々此地方ノ事情ヲ承ッタノデアリマスガ、ドウモ政府トシテ、マダ滿洲ヲ十分御調査相成ッテ居ナイノデヤナイカト云フ心配ガアルノデアリマス、隨テドノ方面ニドウ云フ仕事ヲサセル、或ハドウ云フ作物ヲドウ云フ地方ニ獎勵スルカ、サウ云フ根本方針ガ、マダ立ッテ居ナイノデヤナイカト思フノデアリマス、ソコデ此根本方針ノ最モ大切デアルコトハ申上ゲル必要モナイト存ジマス、現ニ北海道ノ移住民ノ狀態ヲ見マシテモ、私共ハ實ニ氣ノ毒ニ堪ヘナイ狀態ヲ面ノアタリ拜見スルコトガ出來ルノデアリマス、近來根室ノ奥地地方ニ多數ノ移住ガ行ハレテ居ルヤウデアリマス、此處ニ其地方選出ノ小池サンモ御出ニナッテ居ル次第デアリマスガ、此根室ノ標

津ト云フ原野ガアル、此原野ニ段々移住民ガ參ッテ居ル、所ガ季候風土カラ申シマシテモ、内地トハ全然其趣ヲ異ニ致シテ居リマス、兩三年來頗ル不作デアリマス、而モ其移住民ニ指導サレテ居ル農作物ノ狀態ヲ見マスト、土地ニ適シナイモノガ段々アルノデヤナイカト思ハレタノデアリマス、然ルニ北海道ニ於キマシテモ——而モ多年研究サレテ居ル管ノ北海道ニ於キマシテモ、尙且ツ左様ナル失敗ガアルノデアリマシテ、滿洲ニ對シテハ今少シ慎重ナル研究御調査ノ上デ、將來ノ御方針ヲ御決メニナル必要ガアリハシナイカト思フ、此點ニ對シマシテ、唯米ヲ作ラセナイノ、或ハ粟ヲ獎勵スルノ、大豆ヲ大ニ栽培スルト云フヤウナ、机上ノ所謂空論ダケデハ、又將來ニ於テ折角ノ移住民ノ計畫ヲ、根本的ニ破壊スルヤウナ結果ヲ見ル虞ガアルヤウニ考ヘラレノデアリマス、此點ニ對シマシテ拓務大臣ノ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス

○永井國務大臣 只今ノ御質問ノ趣旨ハ、丁度私共自身又考ヘテ居ル點ト同ジト思ヒマス、御話ノ通り滿洲ニ對スル産業ノ基礎調査ハ、マダ緒ニ就イタバカリダト申シテ宜シイノデアリマス、決シテ完成シテハ居ラヌノデアリマス、又昨年カラ御協賛ヲ經マ

シテ移住適地ノ調査ヲ始メタノデアリマスケレドモ、其移住適地ノ調査デモ、中々匪賊ノ出沒ノ爲ニ妨ゲラレマシテ、進行ガ非常ニ困難ナノデアリマス、併シ匪賊ノ討伐サレタ所カラ、不完全ナガラ調査ヲ進メテ居ルト云フ狀態デアリマシテ、産業ノ基礎調査ガ出來テ居ナイト云フコトハ、如何ニモ御觀察ノ通りデアリマス、隨テ滿洲ニハ出來ルダケ多數ノ移民ヲ送ラナケレバナラスト云フ民間ノ議論モ、是ハ中々傾聽ニハ

値スルノデアリマスガ、速急ニヤルナラバ、只今ノ御意見ノヤウニ、又失敗ヲ繰返サナケレバナラスト云フコトヲ恐レマシタノデ、ソコデ吉林省ノ比較的安全ト考ヘマシタ部分ニ、約千名ノ試驗移民ヲ送ッテ、サウシテ從來ヨリハ、大規模ノ農業試驗ヲサセテ見テ居ルト云フ次第デアリマス、其試驗ヲスルニシマシテモ、矢張内地ノ農業ト衝突シナイヤウニ、其生産物ノ種類ヲ選ンデ試驗ヲシナケレバナリマセヌ、ソコデ専ラ大豆トカ、小麥トカ、或ハ畜産トカ云フコトニ重キヲ置イテ、試驗ヲ始メテ居ルト云フ次第デゴザイマス、滿洲ノ移民ニ對シテ十分ナル科學的調査ヲ遂ゲテ、其上デ百年ノ大計ヲ樹立シナケレバナラスト云フ御意見ハ、至極御尤ニ存ジテ居ル次第デア

リマス
○河野委員 簡單デスカラ關聯シテチヨツト……

○東委員長 宜シウゴザイマス

○河野委員 先程拓務大臣ノ御話ニ依リマスト、數字ノ喰違ヒハ説明ガ足りナカッタ、農林省ト朝鮮總督府トノ間デ打合セテ、農林省ガ其數字ヲ作ッタモノデアアル、隨テ拓務省ト農林省ノ間ニハ、完全ナル協調ト申シマスカ、意見ノ打合ヲシテヤッテ居ルノデアアル、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマス、所ガ一昨日農林當局カラノ御説明ニ依リマスト、農林省ノ出シタ數字ハ、農林省ガ過去五箇年間ノ平均趨勢ヲ見テ、今後ヲ律シテ作ッタモノデアルト云フ御答辯デアッタノデアリマス、デアアルカラ私ハ農林當局ニ、何故朝鮮ノ問題ハ、拓務省乃至ハ朝鮮總督府ト能ク相談ヲシテヤラヌカト云フコトヲ、私ハ申上ゲタノデアリマス、ソレデ後カラ今ノヤウナ御話ガ出マスト、何ダカ私ガ言掛リデモ付ケタヤウナ恰好ニナル、所ガ私ハサウデハナイ、拓務省ト云フモノハ何時デモ朝鮮ナリ、臺灣ナリノ米ノ問題ニ付テ、兎ヤ角ト重大ナ發言ヲ爲サル立場ニアル、朝鮮米ガドウナル、臺灣米ガドウナルト云フコトヲ、拓務大臣タル者ハ常ニ頭

ノ中ニ入レテ置カナケレバナラス、又自分
ガ覺エテ居ナイマデモ、何時デモ拓務省ノ
中ニハ、其調査ノ數字ガ置イテナケレバ
ラヌ筈デアル、然ルニ朝鮮總督府ヘ電報ヲ
打タナケレバ間ニ合ハヌト云フヤウナコト
デハ、駄目デヤナイカト云フコトヲ申上
ダノデアリマス、是ハ事實其通りダト私
考ヘテ居ル、デ私ハサウ云フ普段カラ數字
ヲ御記憶ニナッテ居ラヌヤウナ、調査ヲ御持
チニナッテ居ラヌヤウナ拓務當局ト、米ノ
問題ニ付テ議論スルコトハ快シトセヌト
言ッテ質問ヲ打切ッタノデアリマス、所ガ先
程來段々御話ヲ承ッテ居リマスルト、朝鮮米
ノ我國ニ對スル移入ノ問題ニ付テ、色々非
常ナ誤解ガ拓務大臣ニ本質的ニアルヤウニ
私ハ考ヘマスカラ、一點伺ッテ見タイノデア
リマス

即チ吾々ガ朝鮮米ヲ内地ニ持ッテ來ル場
合ニ、一應政府ノ手ニ依ッテ移入ヲ管理セヨ
ト云フ要求ヲ致シマスル所以ノモノハ、米
ヲ月別平均移入スルノガ目的ノ最大ノモノ
デハナイノデアリマス、勿論ソレモ必要ナ
事デアリマス、朝鮮米ヲ月別平均的ニ移入
スルノ方策ヲ講ズルコトハ、勿論必要ナコ
トデアリマスガ、根本ノ問題ハサウデハナ
イ、根本ノ問題ハ、朝鮮ノ生産費ガ内地ノ

生産費ニ比ベテ非常ニ安イ、此生産費ノ調
査モ、先日來承ッテ見マス、朝鮮總督府乃
至ハ拓務省ハ調査ガナイ、皆サンニ御話ス
ルヤウナ調査ハ持ッテ居ラヌト云フコトデ
アリマスルカラ、數字ノ上ニ付テ茲ニ御尋
スルコトハ出來マセヌガ、常識的ニ考ヘテ
公租公課ガ安イ、其他ノ一般ノ政府ノ施設
ニ於テ、朝鮮ノ方ガ米ノ生産費ガ安クナッ
テ居ルト云フコトハ、何人モ否定スルコトノ
出來ナイ事實デアリマス、生産費ノ安イ米
ヲ内地ニ持ッテ來テ——我國ノ米價ノ統制
ガ、平均生産費ヲ最低ノ規準價格トシテ居
ル、サウ致シマスルト、朝鮮ノ如ク常ニ平
均生産費ヨリモ安イ所ニアル米ノ生産ハ、
非常ニ有利ナ立場ニナル、朝鮮ニ於テノ米
作者ハ、此米穀統制法案ニ依ッテ非常ニ有利
ナ地位ニ置カレテ居ルト云フ結論ニナル、
有利ナ地位ニ於テ、益、米ノ増産ガ計畫サレ
ルト云フコトニナリマスルト、只サヘ朝鮮
カラ米ガ澤山内地ヘ入ッテ來ルノニ、朝鮮米
ガ増産セラレルト云フコトニナルト、此米
穀統制法案ニ依ッテ益、朝鮮ノ米作ガ有利ニ
ナリマシテ、平均生産費ヨリモ高イ所ニア
ル内地ノ米作者ヲ脅威スルノデアリマス、
ソコデ先日モ私ハ農林省ニ對シテ承ッテ見
タイト思ッタノデアリマスガ、内地ノ一番高

イ平均ノ生産費ヲ持ッテ居ル府縣ト、朝鮮ノ
非常ニ安イ平均生産費ニ較ベルナラバ、其
間ニ相當ノ開キガ出來ルグラウト思フノデ
アリマス、サウ致シマスルト、内地ノ比較
的生産費ノ高い地方ハ、朝鮮ノ米作者ニ較
ベテ、ドウシテモ競争ガ出來ナクナル、ソ
コデ朝鮮海峽ヲ米ガ通ル時ニ、政府ガ此朝
鮮米ヲ向フノ平均生産費デ買上ゲル、内地
同様ニ朝鮮ノ平均生産費ニテ買上ゲテ、ソ
レヲ内地ニ持ッテ來ル場合ニ、内地ノ平均生
産費マデノ間ノ幅幅ヲ決メテ、内地ニ持ッ
テ來ナケレバナラスト云フコトガ、吾々ノ朝
鮮米管理論ノ根本ノ理由デアリマス、ソコ
デ吾々ハ是非トモ朝鮮米ヲ管理シナケレバ
イカヌ、臺灣米ヲ管理シナケレバナラスト
主張スルノハ是ニアルノデアリマス、所ガ
聞ク所ニ依リマス、米穀調査會若クハ政
府ノ機關ニ於テ、色々議論セラレマシタ其
原案ノ中ニハ、朝鮮米ヲ管理セヨトカ、朝
鮮ニ於テ非常ナ豐作ノアツタ場合ニハ、特ニ
政府ニ於テ之ヲ管理統制スルト云フコトガ
アツタ、ソレヲ何故ニ政府ニ於テ議會ニ提出
セラル、法案ヲ御作リニナル際ニ御取除キ
ニナツタカ、而モ聞ク所ニ依ルト、朝鮮ノ官
吏ガ朝鮮ノ人ヲ煽動シテ、サウシ反對運動ヲ
起サシテ、朝鮮ニ重大ナ關係ガ起ッテ來ルト

云フヤウナコトニ依ッテ、此朝鮮米管理ノ
說ヲ御取除キニナッテ、サウシテ只今承ッ
テ居リマスレバ、農林大臣マデガ、是デ以テ
米穀統制法案ハ完全ナモノデアアル、朝鮮米
ヲ管理スル考ハナイト云フヤウナコトヲ御
述ベニナリマスコトハ、少シ大膽過ギハセ
ヌカト私ハ思フノデアリマス、モウ少シ農
林大臣カラ率直ニ、出來レバ朝鮮米ヲ管理ス
ル方ガ宜イノデアアルガ、差當リ此法案ヲ出
シテ置イタト云フ程度ノ答辯ガナケレバナ
ラスト私ハ考ヘテ居ル、而シテ拓務大臣ニ
於テハ、只今私が申上ゲマシタ通り、今ノ
儘放任シテ置ク時ハ、生産費ノ安イ朝鮮米
ノ爲ニ、内地ノ生産費ノ比較的高ク掛ル所
ノ農民ガ、米作者ガ非常ナル脅威ヲ受ケテ、
一層困窮ノ立場ニナルト私ハ考ヘマスル
ガ、拓務大臣ノ御所見ハ如何デアリマス
カ

○永井國務大臣 河野君ノ御述ベニナリマ
シタコトノ中、其數字ニ關スルコトヲ私が
説明シマシタ意味ハ、朝鮮ニ關スル農林省
ノ統計ハ、農林省ガ朝鮮總督府ノ協力ヲ受
ケテ調製シタモノデアアル、農林省ト朝鮮總
督府ガ協力シテ拵ヘ上ゲタモノデアリマシ
テ、其統計ダケヲ差上ゲテ置イテモ宜カッタ
ノデアリマスケレドモ、朝鮮總督府自體デ、

又何か統計ガナイカト云フ御話ガアツタノ
デ、朝鮮總督府自體デ拵ヘタモノガ、古イ
モノデアリマスケレドモ、斯ウ云フモノガ
アリマスと言ウテ、御覽ニ入レタノデアリ
マス、其點ハ御諒承願ヒタイト斯ウ言ッタノ
デアリマス、決シテ私ガ河野君ガ言掛リヲ

言フ人デアルト云フヤウナコトハ思ハナ
イ、私ハ前途有望ナル少壯政治家トシテ、
大ナル期待ヲ有ッテ居ルノデアリマス、實ハ
河野君ガ民政黨ノ中ニ居ラレナイコトヲ、
私ハ遺憾トシテ居ル位デアリマス(笑聲)サ
ウ云フヤウナ惡イ意味ハ決シテアリマセ
ヌ、ソレカラ朝鮮米ノ移入ニ關シマシテハ、

私ハ内地米ノ缺乏ヲ補フ程度ニ朝鮮米ヲ移
入スルコトヲ方針トシテ、政府ガ出來ルダ
ケ調節スベキモノデアアル、其意味ニ於テモ
數量ノ統制ガ必要デアアル、併ナガラ同時ニ、
又ソレデハ價格ノ點ヲ全然無視シテ宜イカ
ト云フニ、決シテサウデハナイ、價格ノ點
モ亦大ニ考慮ヲシナケレバナラヌト云フコ
トヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、私ハ政

府ガ朝鮮米ヲ統制スルト云フコトニ付キマ
シテ、私ハ出來ルダケ内地ノ農村ニ對スル
效果ヲ擧ゲルコト、其處ニ私ハ主眼ヲ置イ
テ話ヲシテ居ッタ次第デアリマス

○尾崎委員 只今ノ拓務大臣ノ答辯ノ中

ニ、河野君ノヤウナ少壯代議士ガ民政黨ノ
中ニ居ラレナイコトヲ遺憾トスルト云フコ
トガアリマシタガ、甚ダ不眞面目極マル答
辯ダト私ハ思フノデアリマス、是ハ拓務大
臣ニ御取消ヲ願ヒタイ

○永井國務大臣 是ハ誤解ダト思ヒマス、
河野君ノ如キ前途多望ノ青年政治家ガ議會
ニ出來ルダケ多ク居ルコトガ必要ナコトデ
アリマス、我黨ニモ亦斯ノ如キ政治家ノア
ルコトヲ希望スルノデアリマス、我黨ニモ
多士儕々デアルト思ヒマスケレドモ、尙ホ

河野君ノ如キ人ヲ益加ヘタイト思ヒマス
(河野君ノヤウナ人が民政黨ニハナイノ
カト呼フ者アリ)澤山アリマスガ、河野君
ノ如キ人モ吾々ハ加ヘタイ、私ハサウ云フ
意味デ言ッタ、全體河野君ノ如キ前途多望
ナル少壯政治家ノ出來ルダケ多數デアルコ
トガ望マシイコトデアアル、斯ウ云フ意味デ
ス

○尾崎委員 民政黨ダケハドウシテモ取消
シテ貰ヒタイト思ヒマス、民政黨ニ居ラナ
イコトヲ遺憾トスルト云フ言葉ダケハ取消
シテ貰ヒタイ

○永井國務大臣 尾崎君ノ誤解デ、好イ人
ハ出來ルダケ一緒ニ仲間ニナッテ研究モシ
タイ、ソレデサウ云フ人が出來ルダケ多數

我黨ニモ居ルコトヲ希望スルト、私ハサウ
思フノデス

○尾崎委員 委員會開始以來數回ニ互ッテ
委員諸君カラ質問ガアリ、又政府當局カラ
答辯ガアリマシタカラ、私ハ其重複ヲ避ケ
マシテ、二三點質問致シタイト思フノデア
リマス、先ヅ農林當局ガ本議會ニ米穀統
制案ヲ御提出ニナリマシタ根本精神ニ週ッ
テ、後藤農林大臣ニ御尋ネシタイト思フノ
デアリマス、即チ曩ノ第六十三臨時議會ニ

於キマシテ、我黨ノ委員諸君カラ熱心ナル
質問追窮ノ結果、政府ハ次期議會ニ於テ米
穀政策ニ對シ根本對策ヲ樹テル、斯様ニ政
府ハ聲明セラレマシタガ、斯ウシタ關係カ
ラ此統制法案ヲ本議會ニ御提出ニナッタ
云フコトハ一般衆目ノ認ムル所デアリマ
ス、之ニ對シテ大臣御自身モ現行法ニ缺陷
アルコトヲ御認メニナッテ、此法案ヲ御提出
ニナッタカドウカト云フコトヲ、先ヅ後藤農
林大臣ニ御尋ネシタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 現在ノ米穀法ハ過去ニ於
テ色々ナ経路ヲ經テ、米穀事情ノ變遷ニ應
ズルガ爲ニ制定サレテ參ッタノデアリマス
ガ、更ニ其後ノ米穀事情ノ變遷ハ、是デハ
ドウモ不十分デアルト云フヤウナコトニ考
ヘラレルヤウニナッテ參ッタノデアリマス、

而シテ六十二議會ニ通過シマシタ豫算ニ於
キマシテモ、米穀統制ニ關スル方策ヲ十分
ニ調査研究スルト云フ方針ガ立テラレテ
居ッタノデアリマス、前内閣ノ時代カラサウ
云フ方針ニナッテ居ル、ソレニ基イテ米穀ノ
統制ニ關スル各種ノ基本的ノ調査ヲ進メテ
參ルヤウニ順序ハ立ッテ居リマシタ、其速度
ヲ一層早メマシテ、今度ノ新統制案ヲ茲ニ
立案シテ御審議ヲ仰グヤウナコトニ相成ッ
タ譯デアリマス

○尾崎委員 サウ致シマス農林大臣モ現
下ノ情勢カラ見テ過去ノ法案ニハ不備ナ點
ガアツタ、此改正ヲ必要トスルト云フコト
ヲ、農林大臣御自身モ御認メニナッテ譯デ
ゴザイマスカ

○後藤國務大臣 米穀調査會、米穀統制調
査會等ニ於テモ色々ナ案ガ議セラレマシ
テ、サウシテ現行法ト別ニ今度ノ米穀統制
制度ノ如キモノヲ樹立スルガ宜イト云フ御
答申ガアリマシタ、政府ハ之ヲ適當デア
ルト認メマシテ本案ヲ出サヤウニナッテ譯デ
アリマス

○尾崎委員 二十日ノ宮崎委員ノ質問ニ對
シ、農林大臣ノ答辯、米穀部長ノ答辯ガ違ッ
テ居ル、即チ率勢米價ニ付テハ大分農民ガ
苦シメラレ、五百五十萬ノ農民ノ頭ニハ深

ク入ッテ居ル、又農林大臣御自身モ大分之ニハ惱マサレタ事柄デアリマス、此機會ニ於テ之ヲハッキリシテ置キタイ、宮崎委員カラ斯ウ云フ質問ガアツタ、最低價格決定ニ關シ米穀生産費並ニ物價其他ノ經濟事情ヲ參酌シテ決定スルアルガ、物價云々ト云フ意味ハ現行法ニ於ケル「米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格」即チ率勢米價ト云フコトヲ意味スルカドウカトノ質問ニ對シ、米穀部長ハ物價其他ノ經濟事情ヨリ算出スル場合、或ハ率勢米價ヲモ參考トスルコトガアルカモ知レヌト答辯セラレ、之ニ對シ更ニ宮崎委員ハ、率勢米價ヲ廢止セズシテ新統制案ノ價值ガ何處ニアルカト追窮セルニ對シ、同部長ハ本問題ハ自分ヨリ答辯スベキ事柄デナイカラ、何レ大臣ヨリ答辯セラレル旨ヲ答ヘラレタ、ソコデ農林大臣ハ内閣ガ迭レバ直チニ農林省カラ去ラレルガ、米穀部長ハサウデナイ、米穀部長ハ身分保障ガアツテ農林省ニ殘ッテ居ラレル、此統制法案ガ此議會ヲ通過シマス、之ヲ施行スルニ、先ヅ米穀部長ハ生殺與奪ノ權ヲ握ッテ居ラレル人デアル、此重要ナル人ガ此率勢米價ニ對シ、曖昧ナルコトヲ答辯セラレルニ至ッテハ、吾

ハ此コトニ付テハ、率勢米價ノ建前ト、今回提出シタ所ノ統制法案トハ、其建前ニ於テ違フコトヲ、ハッキリ御答辯ニナツタカラ、此點ハ大臣ト私共ハ所見ヲ一ニシテ居リマスカラ、大臣ニ御尋ハ致シマセヌガ、此點米穀部長ハ大臣ト同様デアルカ、又外ニ何カ之ニ對シテ御意見ガアルカ、之ヲ米穀部長ニ御伺フ致シタイ

全體ノ建前デアリマセヌ——其點ダケニ付テ實行シタ遣方ト云フモノヲモ一ツ考ヘテソレガ宜イカ、又チャント變ッテ方法ヲ考ヘナケレバナラヌカト云フヤウナコトヲ考究スルノダト云フ、極ク細カイ技術的ノ點ヲ申上ゲヤウシタノデハナカッタカト思ヒマス、尙ホ米穀部長カラ御答致シマス

カッタト云フコトヲ、御認めニナツタヤウデアリマスカラ、此位ニシテ置キマス
第二點ト致シマシテ、現行米穀需給調節特別會計資金ニ付デアリマスルガ、米穀法制定以來今日マデノ米穀資金ノ損失ハ、私ノ記憶ニ依リマスレバ、一億八千五百萬圓デ、年々一千萬圓位ノ利子ヲ特別會計カラ拂ッテ居ル、ソコデ農林大臣ハ是ダケノ大

キナ改正ヲ斷行セラル、場合ニ、之ヲ特別會計カラ一般會計ニ移シテ、綺麗ニ之ヲ決算セラレナイト云フ理由ハ何處ニアルカ、一ツ農林大臣ニ御伺シタイ

○後藤國務大臣 一寸米穀部長ガ御答ヲスル前ニ、私カラ御答スル方ガ宜イカト思ヒマス、當時私居リマセヌカラ、米穀部長ガドウ云フコトデ御答ヲシタノカハハッキリ致シマセヌケレドモ、ソナ難カシイ問題デハナカッタノダト思ヒマス、此率勢米價ニ依ッテ、上値、下値ヲ決メテ、上二割、下二割ト云フコトヲ決メテ、ソレヲ基準ニシテ米穀法發動ノ機會ヲ定メタト云フノガ、前ノ米穀法デアリマス、今度ノ米穀法ハ公定制度ニ依ッテ、米價ヲ其中ニ織込ム、公定制度ヲ確實ニシヨウト云フ建前ニナツテ居リマスカラ、此前ノ米穀法ノ建前トハ違ッテ居リマス、唯物價其他ノ事情ヲ、公定價格ヲ決メル時ニ、參酌スル技術的方法ガドウナルカト云フコトニナルト、色々ナモノニ計數ヲ出シテ來ナケレバナリマセヌノデ、米穀部長ハ今マデ行ッテ來タ遣方ト云フモノガ、

○荷見政府委員 只今御尋ノ點ハ、大臣ガ今仰ツシヤツタ通りノ意デアリマス

○尾崎委員 然ラバ此率勢米價ト云フモノハ、五百五十萬ノ農民ヲ、過去ニ於テ苦メテ居ッタ惡法デアッタト云フコトヲ、私共ト共ニ農林大臣モ、米穀部長モ御認めニナルカ、其點ヲ一ツ伺ヒマス

○後藤國務大臣 ドウモ過去ノ事ヲ色々ト批評的ナ言葉ヲ用キルコトヲ欲シマセヌ、又率勢米價ト云フ言葉モ謎ノヤウニ考ヘラレテ、色々ナ議論ガ行ハレタコト、存ジマス、物價ヲ見ル時ノ是ハ極ク抽象的ナ一ツノ方法デモアリマセウ、ソレカラ出テ來タ建前ノ、色々ナヤリ方ガ粗糲ナ問題デアッタラウト思ヒマス、サウ云フ風ニ申上ゲル外ナイト思ヒマス

○後藤國務大臣 此問題ハ米穀需給特別會計ニ付テハ、非常ニ重大ナル問題デアルト思ヒマス、先般來モ時折御質問モアリマシタ、私共トシテハ此特別會計ノ損失ヲ、整理シタイト云フ熱心ナル希望ヲ持ッテ居ル、併ナガラ一般財政、公債政策ノ狀況ハ、今日之ヲ一氣ニ整理スルト云フコトニハナツテ居ラヌト思ヒマス、從ッテ一般財政ニ互ッテ、財政計畫、公債政策ノ更改ヲ致シマスル時機ガ、之ヲ問題ニスベキ時機デアラウカト思フノデアリマス、何レハ損失ニナツテ居ルモノハ、損失トシテ處理スル外ナイモノデアル、之ヲチットモ隠サウトモ致シマセヌシ、何時カ御質問ガアリマシタガ、チッ

○尾崎委員 率勢米價ノ點ハ、農林大臣モ米穀部長モ私共ト共ニ、餘リ良イ法律デナ

○後藤國務大臣 此問題ハ米穀需給特別會計ニ付テハ、非常ニ重大ナル問題デアルト思ヒマス、先般來モ時折御質問モアリマシタ、私共トシテハ此特別會計ノ損失ヲ、整理シタイト云フ熱心ナル希望ヲ持ッテ居ル、併ナガラ一般財政、公債政策ノ狀況ハ、今日之ヲ一氣ニ整理スルト云フコトニハナツテ居ラヌト思ヒマス、從ッテ一般財政ニ互ッテ、財政計畫、公債政策ノ更改ヲ致シマスル時機ガ、之ヲ問題ニスベキ時機デアラウカト思フノデアリマス、何レハ損失ニナツテ居ルモノハ、損失トシテ處理スル外ナイモノデアル、之ヲチットモ隠サウトモ致シマセヌシ、何時カ御質問ガアリマシタガ、チッ

トモ隠立テハアルモノデハナイ、唯今後ノ色々ナ事情ノ變化ニ依リマシテハ、其損失ニハ多少ノ變化ハ起ル、例ヘバ持ッテ居ル米ノ價ノ値上リ等ガ起レバ、是亦變化ガ起ル、之ヲ整理スルノニ一番便宜ナ時機ト云フノガ、必シモ今デアルトモ考ヘラレマセヌ、其點ダケカラ考ヘマシテモ、又一般財政竝ニ公債政策ノ見地カラ致シマシテモ、今日ハ之ヲ整理スルト云フ時機ニハ參リ兼ネマス、ソレデ資金ノ限度ノ擴張ト云フ一途ノミヲ提案致シマシテ、御協賛ヲ得ヨウトシテ居ル譯デアリマス

○尾崎委員

第三ニ米穀統制法案ト不可分ノ關係ニアリマスル、肥料問題ニ付テデアリマスルガ、此問題ハ東委員長カラ、又河野委員カラモ本會議ニ於テ、十分ニ述ベラレタ問題デアリマス、此肥料問題ノ解決ヲシナケレバ、今日ノ窮迫セル所ノ農民ヲ救フコトハ斷ジテ私ハ出來ナイと思ヒマス、ソレデ之ニ對シマシテ農林大臣ハ何カ具體的ニ對案ヲ持ッテ居ラレルカドウカ、持ッテ居ラレルト致シマシタナラバ、今議會ニ提出セラル、カドウカ、此問題ヲ根本カラ解決シナケレバ、佛ヲ作ッテ魂ヲ入レナイコトデアル、此法案バカリ議會ヲ通過致シマシテモ、肥料問題ヲ解決シナケレバ、私ハ意

味ヲナサヌと思フ、農林大臣ノ御所見ヲ御伺シタイノデアリマス

○後藤國務大臣

此問題ニ付キマシテモ、曩ニ御答ヲ致シタコトガゴザイマス、肥料問題ヲ全體トシテハ非常ニ私共憂慮致シテ居ルノデアリマス、一面ニハ自給肥料等ノ獎勵ヲ盛ニ圖ルト云フコトハ、今日ニ於テモ幾分實行ノ歩ヲ進メテ居リマス、併ナガラ一面金肥料ニ硫酸ト云フ問題ニ付テ、最近マデノ狀況ハ決シテ私共満足シテ居ル狀況デアリマセヌ、農家ノ一ツノ大宗デアル肥料ノ價ガ、可ナリ高クナッテ居ルト云フコトヲ憂ヘテ居リマス、併ナガラ度々申上ゲマスルヤウニ、然ラバ之ニ應ズル目前ノ具體的ナ方策ハドウカト云フコトニ付テハ、色々考究ヲ遂ゲテ居リマスルケレドモ、今日確乎タル成案ヲ見ルニ至ッテ居リマセヌ、斯ウ云フ次第デアリマス

○東委員長

多木久米次郎君——今拓務大臣ハ一寸出タノデスガ、直グ來ルサウデスカラ……

○多木久米次郎君

先ニ一寸農林大臣カラ御尋シテ置キマス、此米穀統制法ガ出來マシテ、大體米ヲ高クスル積リカ安クスル積リカ、何カ法案ヲ作ッテ政府ニ一ツノ權利ヲ與ヘルト、何時モ農民泣カセノ結果ヲ見

ルヨリ外ナイ、殆ド吾々ガ見マス、農林省ハ農家ノオ父サンノヤウニ尊敬シテ居ルニモ拘ラズ、其御行動ハ何時モ百姓泣カセ

ヲヤッテ居ル、農民脅シノ政策シカナイ、是ガ出來タ結果恐シイコトニナリハセヌカト憂ヘテ居ル一人デアル、第一番ニ今日ノヤウニ政府ガ白米ヲ拵ヘテ、サウシテ一圓ニ賣レ、バ九十八錢、九十八錢ニ賣レ、バ九十錢、八十五錢ト云フヤウナ合デ、相場以下ニ上手ニ米ヲ御下ゲニナル、マルデ瓦斯カ電氣デ殺サレ、眞綿デ首ヲ締メラレルヤウナ狀態デ、米ヲ御下ゲニナルコトハ極メテ御上手デアル、表面ノ御答辯ト實際トハ全ク背馳シテ居ル、現ニ今白米ヲ大搗精デ三千石、五千石、一萬石、日々御拵ヘニナルト云フコトデスガ、ドレ程ノ設備ヲシテ、毎日何程御賣リニナッテ居ルカ、而モ政府ハ一億何千萬圓モ年々米ヲ壓迫スル爲ニ出スノデアル、而モ財政困難、國家窮乏ト云フ場合ニモ拘ラズ、此米ヲ賣ルノニ無理ヲスルノハ、ドノ黨派デモ餘リ縁ノナイヤウナ狀態デ、殆ド默認ヲシテ居ルヤウデアル、而モ損ヲシナガラモ、金ガアルガ如クニシテ又増資々々ト、斯ウ云フヤウナ世間購シノ法案ガ、世界廣シト雖モ何處ニアルカト云フ感ジガアルガ、如何デアリマスカ、若シ

モ政府ガ誠意ヲ以テ米ノ價格ノ維持ヲシタイ、保存ヲシタイト云フナラバ、年ニ依ッテ豐凶ノ狀態ヲ考ヘテ、サウシテ糶ナレバ一石二圓、米ナレバ四圓、之ヲ十月ノ二十五日、三十日マデ持ッテ者ニハ金ヲヤルト云フコトニナルト、保存ノ仕甲斐ガゴザイマスルカラ、政府ハ三百萬石、五百萬石ト云フ米ヲ、月々五十萬圓、七十萬圓ト云フ莫大ノ費用ヲ出ス、而モ之ニ附イテ居ル多クノ官員サンヲ養フ、ソレヨリハ米ヲ眞ニ調節スル積リナラバ、五百萬石ハ四圓ヅ、ヤッタ所ガ二千萬圓デアリマス、而モ其米ノ保險料、倉敷料モ要ラナイト云フ、二千萬圓デ米ノ調節ガ出來ル、米ノ五百萬石モ政府ハ調節シタコトガナイノデアリマスルガ、五百萬石ヤレバ十分デアル、而モ其持ッタ所ノ米デモ、亦買品デモ、農家カラ直接ニ買ヘバ宜イガ、何時モ米ノナイ者カラ買フ、値ガ高イカラシテ、米ヲ持タナイデ賣ル權利サヘ取レバ利益ニナルト云フ、若シモ已ムヲ得ザル場合ニナレバ、新シイ物ト古イ物ヲ代ヘレバ宜イ、一石ヤルカラ八斗持ッテ來イ、新シイ斯ウ——云フ米ニ換ヘテヤルト云フコトニナレバ農家救済ニナリ、途中ノ無駄ナ費用モ要ラナクナル、而モ唯、米ヲ買フト云フコトカラハ、高ク買ヒマシテ

モ其買ウタ結果ガ現ハレナイヤウデアル、或ハ庄内トカ、或ハ九州トカノ品ヲ買ッテモ、一向影響ノナイヤウナ所デ御買ヒニナルノガ常ト見ラレル、今モ肥料ノコトガ出デ居リマシタガ、是ハ大ナル關係ガアル、然ルニモ拘ラズ硫酸「アンモニヤ」ト云フモノモ、外國カラ來ル奴ガ安イノニ、ソレハ輸入ヲ止メテ置イテ、四十圓内外ノモノヲ百圓以上ニシテ顧ミナイ、是デ農家ヲ保護シテ居ルト云フノカドウカ、今百萬噸近イ「アンモニヤ」ヲ使ヒマスレバ、一噸ニ五十圓使ヘバ五千萬圓、一噸ニ七十圓使ヘバ七千萬圓デアル、吾々ハ肥料ヲヤッテ居リマシタガ、肥料過燐酸ヲヤッテ居ルモノガ仲間ニ入ラナケレバ、第八條ニ依ッテドウデモ頭ヲ抑ヘテモ入レル、サウシテ需要者ニ取ッテノ價格如何ヲ考ヘナイデ、其業者ノミノ利益ヲ圖ルコトバカリ考ヘテ居ル、米ノ調節ニ付テハ、生産者ノ利害ヲ考ヘナイデ消費者ノ御機嫌ヲ取り、消費者ノ利益バカリヲ考ヘテ居ル、殊ニ米價ヲ二十圓八十錢ニシタノハ、何ヲ標準ニ爲サツテ居ルノカ、生活費ト云フヤウナムヅカシイコトヲ考ヘテ、算盤ニ出ニクイヤウナコトヲ考ヘテ二十圓八十錢ニシタ、一反作レバ手間ガ何ボ、種ガ何ボ、牛ヲ飼ヘバドウダ、肥料ガドウ

ダ、ソレカラ何ガ何ボト云フ譯デアルガ、コンナムヅカシイコトヲ算盤ニ依ッテ何年モノモ掛ッテ、結局何ヲ米ノ價ノ標準ニシタカ分ラナイ、當局ニ聞クト、マダ調査ガ出來テ居ラヌト云フヤウナコトヲ歷代ノ農林大臣ハ何遍言ハレタカ、農民ハ何時デモコンナ風ニサレテ居ル、農民ハ只デヤッテ居ルノデハナイ、博愛的ノ仕事デナク、農民ガ生キテ行カナケレバナラヌ仕事デアリマス、是デハ全ク踏シダリ蹴ッタリデ、火責水責ニサレルヨリモヒドイ百姓デアル、デアルカラ農林省モ大ニ考ヘテ戴カナケレバナラヌ、斯ウ云フ點ニ付テ、農民ニ金ヲヤッテ保護スル御考ガアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ御伺シタイ、硫酸「アンモニヤ」ニ付テモ、田舎ノ三軒ヤ五軒ノ金持ガ農林省ヘ行ッテ、餘リ高過ギルガドウダト言ハレタコトガ新聞ニ出タガ、如何デアルカ、是デモ農民保護ノ方法デアルト思フカ、御承知ノ如ク鐵等ハ値段ガ八割モ十割モ高クナリ、或物ニ付テハ三倍ニナツテ居ル、ソナナ物ノ計算カラ米ノ價ヲ御出シニナツタノカドウカ、先刻モ承ッテ居ルト、滿洲ヲ經營シテ何ヲ作ッタ宜イカ、又朝鮮米ガ來テ困ルトカ困ラヌトカ云フヤウナコトデアリマシタガ、是ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘヌ次第デアリマス、

農林省ノ策ノナイコトヲ、私ハ最モ遺憾ニ思ウテ居ル次第デアリマス、今日ハ動モスレバ食物ノ不足ヲ告ゲ居ル、「アメリカ」ノ米ヤ「サイゴン」ノ米ガナケレバ非常ニ困ル、殊ニ綿ノ如キハドウデアルカ、唯紡績バカリヲ標準ニシテ居ルガ、綿ノ需要ハ紡績ダケデハアリマセヌ、衛生用、工業用ニモ使フ、然ルニモ拘ラズ綿ノ畠何十萬町歩ト云フ土地ハ、松ヲ植エタリ雜草ノ生エルニ委シテシマフ、サウシテ少シモ農民ノ需要ヲ顧ミナイ、農林省ハ一體何ヲ考ヘテ居ラレルノカ、鶏ガ幾ラ殖エタカ、全ク百姓ヲ知ラヌ大臣バカリガ來ラレテ、農業壓迫ダケヲ主トシテ居ラレル農林大臣バカリ居ルヤウナ心持ガシテ洵ニ私ハ遺憾千萬デアリマス、ソレデアリマスカラ、農林省ガ本當ニ農村ヲ救済セントスルナラバ、田畑地租ノヤウナ大惡稅ヲ全廢シテ、小作ニモ制限ヲ置イテ、世界ノ文明國ガスルヤウナ眞似ヲシテ貰ッタラドウカ、國情モ違ヒマスガ、亞米利加ノ如キハ土地ガ廣イニモセヨ、灌漑ノ設備等モ國ガシテ居ル、御承知ノ通り國ガ開墾マデシテ、百姓スル人ニ四十町内外土地ヲ無代デヤル、而モ外國ノ農產物ガ入ッテ來レバ、關稅保護デシタル、然ルニ日本ハドウデアアル、

今日六千萬石ノ米ガ穫レルガ、一石ニ七八圓ノ税金ガ掛ッテ居ル、其根本ノ救済策ヲ講ゼズシテ、ドウシテ農村ガ立ッテ行キマスカ、農村ガ亡ビレバ、國モ亡ビル、農村ハ大ナル生産者デアルト同時ニ、大ナル消費者デアリマス、況ヤ今日ノ人口ハ既往ノ實績ニ依レバ、將來三四十年モ經ツト、内地ダケデモ更ニ六千五百萬、植民地ヲ入レ、一億内外ノ人口ガ殖エルコトハ明デアル、隨テ一億萬石内外ノ米モ要レバ、五億萬貫ノ綿モ要ル、總テノ需要ガ増スノデアリマス、今日ノコトノミヲ考ヘズ、明日ノコト五十年後ノコトヲ如何ニ御考ヘニナルカ、滿洲ヲ經營シテ何ヲ作ルカ、作物ト云フモノハ其地味ト氣候ニ依ッテ作ラナケレバナラヌ、拓務大臣ガ百姓ノコトヲ御承知ナイノハ無理カラコトト存ジマスガ、併ナガラ餘リニ御研究ガ足りナイデ、之ヲ經營スルニ付テ智慧ノ足ラヌコトニハ、吾々驚カザルヲ得ヌノデアリマス、滿洲ハ當分百姓デ行カナケレバナラヌ、百姓デ行クナラバ、朝鮮ノ人ヲアッチヘ送ッテヤレバ、經費モ少ナク結果モ好イ、現ニ百萬内外ノ人ガ行ッテ三百五十萬石ト云フ米ヲ作ッテ居ル、其米ヲ作ッタカラト云ッテ、日本ガ困ルノコト云フノハ何ノコトダカ、將來モ考ヘナイ

デ、荷モ議員ノ名譽アル人々、而モ吾々ノ大ニ崇敬スル人々ノ口カラサウ云フ話ガ出ルト云フコトハ、洵ニ遺憾千萬デアリマス、デアルカラ農林省ニ少シ御智慧デモアルナラバ、斯ウ云フ狭イ土地デ、日本ノ農業ノ將來ガ果シテ如何ニナルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、言フ迄モナク僅カ二十日内外ノ航海ヲ致シマスレバ、緬甸、西貢等ノ米ガ日本ヘ入ッテ來ル、アチラデハ一年ニ六遍モ作ッテ居ル、然ルニモ拘ラズ日本ノ百姓ハアリト有ユル惡政策、水責メ、火責メニ遭ッテ、氣息喘々ノ中ニ米ヲ作ッテ居ルト云フコトハ、世界ノ奇蹟トモ謂フベキコトデナйкаト考ヘル、幸カ不幸カ日本ノ米ハ世界無比ノ美味ヲ持ッテ居ル爲ニ、纔ニ外國米ノ壓迫ヲ免レテ居ルノデアアル、又御承知ノ通り明治二十四、五年以來殆ト四十年間——一局部ニハ多少ノ豐凶ガゴザイマスケレドモ、大體ニ非常ナ豐年ガ續イタケレドモ、萬一凶作ガ續イタナラドウナル、何時モ泰平バカリデハナイ、治ニ居テ亂ヲ忘レデハイカヌノデアリマス、然ルニ五百萬カ七百萬ノ米ガ剩ッテ居ル、内地ノ一人當リニ割當テルト、一人一斗内外ノモノデアアル、而モ一旦天變地變ニ遭ヘバ、内地ノ食糧ニ依ッテ生命ヲ保タナケレバナラス境遇ニ居ル者

ガ、是位ノ米ノ處置ニ困ルト云フコトハ如何デアアルカ、多少ノ餘裕ガナケレバナラスト信ズルノデアリマス、然ルニ農家ヲ壓迫シテ米ノ増殖ヲ圖ラズ、又肥料ト云フ問題ニ於テモ硫酸「アンモニア」ヲ暴騰サセテ、農林省ノ無能ヲ現シタノミナラズ、日本デハ一々大豆カラ出來ル豆粕、油粕等ヲ輸入セズトモ、内地デ家畜カラ無代價ノ肥料ガ幾ラデモ出來ルニモ拘ラズ、農林省ハ是等ノ方策ニ付テ御考ヘニナッタコトガアルカドウカ、若シ農林省ニ智慧ガアレバ、農產物加工研究所ト云フモノヲ拵エル考ガアルカドウカ、土用ノ炎天ニ氷ヲ拵エ、空氣カラ窒素ヲ取ルヤウニ、研究スレバ農產物カラ色々ナ化學製品ガ出來ル筈デアアル、然ルニサウ云フ方面ノ研究ヲセズニ、米ヲ二十圓ニシヤウ、二十五圓ニシヤウト云フヤウナ、實ニ子供ノヤウナ仕事バカリ考ヘテ居ル、大豆ノ如キ物ハ榮養ニ於キマシテモ、肥料分ニ於テモ、穀物中ノ王デアリマス、故ニ米ガ足ラヌカラト云ッテ遠方カラ米ヲ買ッテ來ルヨリモ、領地ニ近イ滿洲ノ豆ニ依ッテ穀物ノ不足ヲ補ッテハドウカ、殆ト科學ノ眼中カラ云ヘバ、物質ノ如何ヲ問ハズ何ンデモ出來ルノデアリマス、農產物ノ加工ニ依ッテ白葡萄酒モ、三鞭モ、「ペルモッ

ト」モ、乃至飴モ菓子モ出來ル、斯様ニ加工ニ依ッテ大ニ價ヲ増スベキ設備ヲ設ケル智慧ガアルカドウカ、日本ノ農業地ハ甚ダ狭イノデアリマス、然ルニ農林省ハ農具ノ獎勵ヲ行ヒ、農民ノ手間ヲ省キ、生産費ヲ省クコトニ付テ何レ程盡シタノデアリマスカ、日本ノ學者ガ發明工夫ガ下手ナラバ、廣ク世界ニ發明工夫ヲ求メテ、栽培、刈取り、其他總テノ部門ヲ分ッテ、懸賞デ發明工夫ヲ募リ、博覽會共進會ヲ開イテ、買フニモ誤リナク、賣ルニモ便利ナヤウニシ、サウシテ農具ノ改良發明ヲ獎勵スル一方ニ於テ、農產物加工研究所ヲ拵エテ過剩農產物ニ加工シテヤッタドウカ、朝鮮ノ米ガ成ルベク平均ニ入ルヤウニト云フコトデアリマスカ、平均ニ入ルヤウニスル必要ガアルカドウカ、食フダケデハナイ、ソレ以外ニ六七百萬石ノ酒ヲ作ッテ居ルノデアアルカラ、其爲ニ數百萬石ノ米ガ入ッテ來ル、其酒ノ需要ニ應ジナイ積リデアアルカドウカ、ソレヲノコトヲ考ヘテ見ルト、ドウシテモ地租ヲ全廢スルコトニナラナケレバイカヌト思フ、亞米利加ノミナラズ、英國デモ、獨逸デモ、佛蘭西デモ、日本ノヤウナ馬鹿ナ稅ヲ取ル國ハナイ、英國ハ地租ヲ取ラナイデ、年々何百萬ト云フ金ヲ投ジテ農業ヲ獎勵シテ居

ル、然ルニ日本ハ農業ニ壓迫ヲ加ヘ、誅求ヲ事トスルノミデ、其保護ノ爲ニ殆ト金ヲ使ッテ居ラス、却テ壓迫シテ居ル、斯様ナコトデ農林省ガ其機能ヲ惡用スルナラバ、寧ロ農林省ヲ廢シテ、自治ヲ獎勵シテ、農會ヲシテ農業ノ統制獎勵ヲ圖ラセラッタドウカト考ヘル、サウシマス、米ニ依ッテ——米ノ壓迫ノ爲メ一億五千萬圓、臨時費ニ四五千萬圓、經常費ニ六千萬圓、約二億五千萬圓ト云フ金ガ出來ル、赤字ノ問題モ幾ラカ解決スルコトガ出來ルト云フヤウニモ感ゼラレマスルガ、農林省ヲ廢スルト云フ御意見ガアルカドウカ、伺ッテ置キマス次第デアリマス、先ヅ一通リ是ダケ伺ヒマス、朝鮮ノコトニ付テハ後カラ伺ヒマス

○後藤國務大臣 多木君ノ御質問デ縷々御述ベニナッタ點ハ、色々ナ點デ非常ニ所見ヲ異ニシテ居ル所ガアルノデアリマス、ドウモ申上ゲルト、意見ニ非常ナ距離ノアル、相違ノアル點ガアリマシテ煩雜ニ涉ルカモ知レマセヌ、最初ニ白米ヲ拂下ゲルコトガ非常ニ巨額ニ上ッテ、政府ハ一方デ米ヲ買上ゲテ、米價ヲ維持シヨウトシナガラ、又一方デ値ヲ壞シテシマフヤウナコトヲシテ、ドシノ損失ヲ掛ケルト云フヤウナ御話ガアリマシタケレドモ、是ハ餘程事實ヲ御間違

ニナッテ居ルノデヤナイカト思ヒマス、米ノ整理ノ爲ニ白米ヲ賣却ハ致シテ居リマス、併ナガラ毎日々々何萬石モ出シテ居ルト云フヤウナ譯デハアリマセス、是ハ保管上ノ必要カラ、整理ノ爲ニ白米ニシテ賣却シテ居ルモノデアリマスガ、之ヲ拂下ゲテ居リマシタノハ、高イ地方ノ困ッテ所デ、斯ウ云フモノヲ欲シイト云フ所ニ拂下ゲル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ執ッテ居リマス、是ハ整理上已ムヲ得ザル處置ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フコトガ餘リ遣方ガ拙ク行ッテ、米ノ價ニ影響スルコトハ、成ベク避ケタイト云フ考デ、サウ云フ方法ヲ執ッテ居リマス、ソレカラ尙ホ歴代ノ農林大臣ハ、ドウモ農民ヲ踏ンダリ蹴ッたり、叩イタリト云フ言葉ガアリマシタガ、ソレハ餘程妙ナ御言葉デ、恐クハ御本意デナイ御言葉ガ出タノデヤナイカト思ヒマス、歴代ノ農林大臣ハ、農民ヲ踏ンダリ、蹴ッたり、叩イタリ所デハアリマセヌ、農民ガ可愛クテ、可愛クテ仕様ガナイノデアリマス、歴代ノ農林大臣ハ、皆誠意ヲ以テ農村ノ爲メヲ圖ッテヤッテ居ルノデアリマス、歴代ノ農林大臣ガ何モヤラナイデ、悪い事バカリヤッタヤウナ仰セデアリマスケレドモ、決シテサウ云フコトハナイノデアリマス、是ハ歴代ノ農林大臣ノ爲ニ

冤ヲ雪イデ置カナケレバナラヌト思ヒマス
ソレカラ尙ホ農林省ヲ廢スル意嚮ハナイカト云フ御話デアリマスガ、只今ノ所農林省ヲ廢スルト云フ意嚮ハ全ク持ッテ居リマセヌ

○八田委員 此機會ニ數字ノコトヲ次會マデ宜シウゴザイマスガ、伺ッテ置キタイ、滿洲ニ於ケル米ノ生産額ヲ、分リマスナラ御報告願ヒタイ、ソレカラ内地カラ出征シテ居ル兵士ガ、皆内地カラノ米ヲ食ベズシテ、滿洲ノ米ヲ食ッテ居ルカト思フノデアリマスガ、果シテ然ラバ其數字、朝鮮米、滿洲米、日本米ト、斯ウ云フヤウナ種別ニシテ出來マスルナラバ、之ヲ承知シタイノデアリマス、昔ハ此兵士ヲ出征セシメルト云フト、内地ノ米ハ非常ニ騰ツタ、皆追送シテヤッタモノデアリマスガ、近來ノ出征兵ハ皆内地ノ米ヲ食ハナイデ、滿洲ノ米ヲ食ッテ居ル、是ハ非常ニ米價ノ統制ノ上ニ、價格ノ上ニ考フ費サナクテハナラヌ問題デアルト、平生考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ點ガ御示シガ出來マスナラバ願ッテ置キタイ、唯此點デアリマス、今日デナクテ宜シイノデス

○河野委員 先日來御願シテ居リマス大藏省ノ、農民ト商工業者トノ公租、公課ノ負擔ノ比較ノ御説明ヲ此際願ヒタイ

○石渡政府委員 先般御要求ノアリマシタ表ハ、昭和四年二月、衆議院ニ於キマシテ、地租委譲ノ委員會ノアリマシタ際ニ、委員ニ配付致シマシタ表デゴザイマシテ、今日ノ負擔トハ大分變ッテ居ルト思ヒマスガ、一應讀上ゲタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマス

○河野委員 モウ既ニ昭和四年ニ一旦委員會ニ發表シタモノナラバ、吾々ハ當時ノ速記録ニ依ッテ調ベルカラ、ソレデ結構デゴザイマス、併シ其後大藏省ノ見込トシテ、地租法ノ改正其他ニ依ッテ、ドウ云フ結果ヲ生ンデ居ルト云フ調査、竝ニ若シ調査ガナケレバ、推算ガ御アリト思ヒマスカラ、ソレニ對スル御説明ヲ願ヒタイ

○石渡政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ御答致シマスガ、農村ニ於ケル負擔、商工業者ニ對スル負擔ニ付キマシテハ、目下稅制調査會ニ於キマシテ、慎重考究中デアリマシテ、今一寸數字ヲ發表スル譯ニ參リマセヌ

○河野委員 稅制調査會ニ於テ調査中トハ、ドウ云フ意味デアルカ、一體ソレハ稅制調査會デ、算盤デ調べヤッテ出來ルノデアリマス

マスカ、ソレトモ調べガアルノデアルガ、發表出來ヌト云フノデアリマス

○石渡政府委員 目下農民ト商工業者トノ負擔ノ比較表ハ、持合セガゴザイマセスデス

○河野委員 今ノ稅制調査會デ調査中ト云フノハ、ドウ云フ意味合デスカ、其意味ヲ伺ヒタイ

○石渡政府委員 稅制改正準備委員會ニ於キマシテハ、今日ノ實情ニ鑑ミマシテ、如何ニ稅制ヲ改正致スカト云フコトニ相成ッテ居リマスノデ、各種ノ負擔ニ付キマシテ慎重考究致ス積リデ、ソレ等ノ材料モ目下調査蒐集中デアリマス

○河野委員 調査蒐集中ト云フコトデアルガ、其調査蒐集出來タ部分ダケ、吾々ハ此際御提出願ヒタイ

○石渡政府委員 今日ノ所、只今發表致シ兼ネルト思ヒマス

○河野委員 ドウ云フ理由デ發表出來ヌカ、理由ヲ承リタイ

○石渡政府委員 甚ダ恐縮デアリマスガ、マダ目下調査致シテ居リマスノデ、調査中ノモノヲ發表ハ致シ兼ネルノデアリマス

○河野委員 吾々ハ其調査中ノモノヲ其調

査ニ依ッテドウシヨウ、斯ウシヨウ、ソレニ依ッテ政府ノ責任ヲ云々ト云フ意味合デ要求シテ居ルノデハナイ、幸ヒ吾々ニ致シマシテモ、今後ノ税制ヲドウ改正スベキカト云フコトノ参考材料ニナルト思ヒマスガ、色々ノ意味ニ於テ吾々ハ調査ノ機關ヲ持チマセヌノデ、政府ニ幸ヒアリマスナラバ、此際是非集ッテ居ルモノダケデモ御示シ願フコトガ、大變親切ナ行爲デハナイカト思ヒマス、同時ニ吾々ハ昭和四年ニ政府ガ御示シナッテ其數字ガ、農村ト商工業ト餘リニ喰違ヒガ多過ギル、若シ其喰違ヒガ大シテナケレバ、議論ノ餘地ハナイ、デアアルカラ、其後ドウナッテ居ルカ知リタイ

○石渡政府委員 只今ノ御質問、甚ダ御尤デアルト思フデアリマスルガ、實ハマダ調査材料ガ集リマセヌノデ、從ヒマシテ御報告出來ナイト、斯ウ申上ゲタ方ガ宜イカト思フデアリマス、尙ホ昭和四年當時ニ於ケル負擔ノ表ニ依ッテ課率ハドウシタカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ思フデアリマスルガ、昭和四年當時ノ地租ノ改正委員會ニ於キマシテモ、主トシテ農民ノ負擔ヲ、如何ニ輕減スベキカト云フコトヲ考ヘマシタ次第デゴザイマス、又其後ドウナッテ居ルカト申シマスレバ、一昨年ノ地租ノ改正ニ依

リマシテ、田畑ノ負擔ガ千五百萬圓程減ズル豫定デアリマシテ、丁度此處ニモ表ガアリマスガ、大正十四年度ニ於キマシテハ田租ハ四千五百萬圓、大正十五年、昭和元年度ニ於キマシテハ四千五百萬圓、昭和二年、三、四、五年度ニアリマシテハ四千萬圓、六年度ニ於キマシテハ三千百萬圓、是ガ平年度ニ於キマシテハ二千六百萬圓ニ減ル見込デゴザイマス、又畑租ニ於キマシテハ、大正十五年ニ一千萬圓アリマシタノガ、五百五十萬圓ニ減ズル見込デゴザイマシテ、大藏省ト致シマシテハ、税制整理ノアル度毎ニ如何ニシテ農民ノ負擔ヲ減ズベキカト云フコトニ付テ、相當考慮シテ參ッテ來タ積リデゴザイマス、尤モ米價ガ非常ニ下リマシテ、十五圓ニモ、十六圓ニモ相成リマスレバ、負擔ヲ減ジマシテモ、其負擔ハ現實ダケノ效果ハ直接ニハ現ハレマイト思フノデゴザイマス、ソレデアリマスガ、如何ニ此下ツタ米價ヲ上グベキカト云フヤウナ問題ニ付テハ、無論ハ私ノ方ノ直接ノ問題デハアリマセヌガ、自然米價等ノ回復ニ俟チマシテ、農民ノ負擔ノ輕減ト申シマスモノハ、相當ノ效果ヲ以テ現ハレテ來ルノデハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員 昭和二年ニ御作リニナッテ表ハ、ドウ云フ必要ガアッテ御作りニナリマシタカ

○石渡政府委員 昭和四年ニ於キマシテハ、地租營業收益稅ヲ地方ニ委譲致シマシテ、特別所得稅ヲ設ケルト云フコトガ、此當時ノ案デアッタデアリマス、其時ニ農民、小營業者ノ負擔ハ、増スノデハアルマイカト云フヤウナ御質問モアリマシタノデ、其當時用意致シテ居リマシタ表ヲ、此處デ引用致シマシテ、決シテ農民、小營業者ニ負擔ノ増加ハナイ、相當負擔ハ輕減サレルモノダ、斯ウ云フ爲ニ作成致シタ表デゴザイマス

○河野委員 サウ云フモノヲ從來、其以前ニ於テ政府ハ調べタコトガアルカドウカ、此後調べルノハ、今御話ノヤウニ、初メハ調査中デアルトカ、研究中デ材料ヲ集メテ居ルト云フヤウナ御話デアッタガ、最後ニハドウモソナモノハマダ集ッテ居ナイト云フコトデアリマシタガ、一體ソレハ農業者、商工業者ノ負擔ノ比較ヲ作ッタノハ一遍ダケカドウカ、換言スレバ一度作ッタ切りカドウカト云フコトノ御説明ヲ願ヒマス

○石渡政府委員 中々負擔ノ比較表ト申シマスモノハ、難シイデアリマシテ、ズット

以前ニ一度相當經費ヲ用ヒマシテ、調査シタコトガアッタカト思ヒマスガ、是ハ恐ラク十年以前カト思ヒマス、其後ニ於キマシテ、其時ノ税制整理ノ材料トシテ調査致シタデアリマシテ、此調査ヲ毎年致シテ居ルトカ、又二三年置キニ致スト云フモノデゴザイマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○清家委員 只今地租ガ累年減ジテ來タト云フコトヲ御述ニナッテ居リマス、負擔カラ申シマスレバ、國稅ヲ減ジテ、地方稅ニ於テ非常ニ増加ヲ致シテ居ルト云フコトモアルノデアリマス、即チ少額所得ノ農民ニ對シマシテハ、地租ハ免ゼラレマシタ、其代リニハ地方稅トナッテ現レテ居ル、普通ノ田租ニ於キマシテモ、地租一圓ニ付テ一圓八十錢、若クハ二圓幾ラト云フ程、府縣ノ地方稅ガ課ケラレテ居ル、其上ニ市町村ノ附加稅ヲ加ヘルト、隨分莫大ナモノニナッテ居ル、其點ヲ御説明ニナラヌデ、唯減ジタ、減ジタト云フヤウナ、若槻內閣ガ言フヤウナコトヲ言ッテ仕方ガナイデハナイカ、三千萬圓減ジタト言ッテモ、言フダケデハ仕方ガナイ、實際國民ノ負擔ヲ幾ラ減ジタカ、其點ハ幾ラデアリマスカ、此數字ニ入ッテ居リマスカ、一千萬圓ノ畑租ガ五百萬圓ニナッタト云フガ、其中ニハ地方稅ハ入ッテ居リマス

カ、居ラヌノデアリマスカ、一向實際ニ於テハ輕減ニモ何ニモナツテ居ラヌノデスカラ、モウ少シ眞面目ニ私ハ大藏當局ハ御調ガ願ヒタイト思ヒマス、表面ダケヲ糊塗シテ、一億三千萬圓ノ海軍費ヲ削出シデ置イテ、片方デ今頃ニナツテ赤字ヲ何億ト出サナケレバナラヌヤウナモノバカリ作ッテ居ルノト、ソレデハ同ジデハナイカ、ソレハ何デス、大藏當局タルモノガ、ドレダケ國民ガ負擔スルカト云フコト、繼續的ニ年調ベルノガ當リ前デヤナイカ、四年ニ一度カ、三年ニ一度カ、何時調ベルカ分ラナイ、臨時ニ減稅ト云フヤウナコトガ起ッタヤウナ時ニダケ調ベルヤウナコトハ、甚ダ政府トシテ不親切デヤナイカ、ソレヲ以テ負擔ノ度合ガ、商工業者ト農民トハ、莫大ニ違フト云フヤウナコトヲ發表シタモノモ間違ッテ居ルデハアリマセヌカ、私ハモウ少シ政治ト云フモノヲ、眞面目ニヤラレンコトヲ、帝國民ノ爲ニ、帝國政府ノ爲ニ、双方ノ爲ニ希望シテ已マヌ次第デアリマス、ドウモ今ノ課長サンノ御話ニ依リマス——

大藏大臣ガ居リマスレバ、御尋申シマスガ、併シアノ人ニ問ウタ所デ、ソレハ課長ニ尋タラ宜イト云フヤウナコトヲ言ハレ、バ、ソレハソレ切リニナリマスカラ、本當ニモ

ウ少シ親切ナ心ヲ以テ調査モ、立法モヤッテ貰フヤウニ、私ハ是ハ希望ニシテ置キマス、課長ヲ責メタツテ無駄ナコトデアリマスカラ……

○久山委員 大藏省デハ年々煙草、鹽ヲ多量ニ御買ニナツテ居ルノデアリマス、此煙草ト鹽ニ對スル生産地カラ收納所ニ至ルマデノ運賃ヲ、價格ノ中ニ御計算ニ相成ッテ居リマスカ、ドウデアリマスカ此點ヲ御尋シタイ

○藤井政府委員 私、大藏省ノ政府委員デアリマシテ御答致スベキ筈デアリマスガ、實ハ私ノ所管ノ事項デアリマセヌノデ、只今御質問ヲ伺ッテ置キマシテ、他ノ政府委員カラ、次ノ機會ニ於テ御答致シテ差支ナケレバ左様ニ取計ヒタイト思ヒマス

○東委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前正十時カラ開會致シマス
午後四時三十一分散會

衆議院米穀統制法案外一件委員會會議錄第六回中正誤

頁	段	行	誤	正
九	二	八	米穀局長	米穀部長
一二	一	二一	稅ハ	私ハ